

(様式第9)

筑大病総調第09-44号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 殿

筑波大学長
山田 信

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	142人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	262人	153.5人	415.5人	看護業務補助	52人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	4人	5人	9人	理学療法士	6人	臨床	臨床検査技師 68人
薬 剤 師	39人	1.8人	40.8人	作業療法士	4人		衛生検査技師 0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	1人	検査	そ の 他 0人
助 産 師	23人	0.5人	23.5人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	540人	25人	565人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	3人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	114人
管理栄養士	5人	0.9人	5.9人	診療放射線技師	37人	そ の 他 の 職 員	31人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	634.9人	10.7人	645.6人
1日当たり平均外来患者数	1,349.6人	52.9人	1,402.5人
1日当たり平均調剤数	1,534.3剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療（心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。）	有・無	人
胎児心超音波検査（産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。）	有・無	人
インプラント義歯（顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。）	有・無	7人
顎顔面補綴（腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。）	有・無	1人
顎関節症の補綴学的治療（顎関節症（顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法（神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。）	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法（歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。）	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術（内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。）	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定（白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法（手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。）	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査（肺腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断（アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。）	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験（消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。）	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断（頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。）	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験（消化器がん（根治度Cの胃がんを除く。）、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。）	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断（子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。）	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術（肝外側区域切除術を含み、肺腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療（固形がんに係るものに限る。）	有・無	67人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。）	有・無	人
成長障害のDNA診断（特発性低身長症に係るものに限る。）	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術（内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食堂静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。）	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術（主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。）	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術（一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。）	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法（閉塞性動脈硬化症又はバージャー病（従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断（高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。）	有・無	人
鏡視下肩峰下控徐圧術（透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。）	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断（ハンチントン舞踏症、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。）	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術（再発翼状片、角膜上皮欠損（角膜移植によるものを含む。）、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着（ステイブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。）、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。）	有・無	人
重粒子線治療（固形がんに係るものに限る。）	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術（原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
31 燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断（糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。）	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療（腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛（保存療法に抵抗性のものでに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
重症 BCG 副反応症例における遺伝子診断（BCG副反応症例又は非定型抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。）	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術（インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。）	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断（マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。）	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断（急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。）	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術（経皮的冠動脈形成術（エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。）による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに限る。）	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
活性化 T リンパ球移入療法（原発性若しくは継続性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性 E B ウイルス感染症に係るものに限る。）	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術（膀胱尿管逆流症（国際分類グレード V の高度逆流症を除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術（泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。）	有・無	人
HLA 抗原不一致血縁ドナーからの CD34 陽性造血幹細胞移植（HLA 適合ドナーがないために造血細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。）	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる CT 透視下の経皮的椎間板減圧術（頸椎椎間板ヘルニア（画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの（後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。））に係るものに限る。）	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断（水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。）	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療（慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病（重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療（慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病（従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術（双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例（妊娠十六週から二十六週に限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法（肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。）	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断（ウイルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。）	有・無	人
超音波骨折治療法（四肢の骨折（治療のために手術中に行われるものを除く。）のうち、観血的手術を実施したもの（開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	0人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法（ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。）	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存（骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性（欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。）、骨腫瘍手術後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時（初回又は再置換術時に限る。）の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。）	有・無	人
X線 CT 画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術（難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに係るものに限る。）	有・無	人
定量的 CT を用いた有限要素法による骨強度予測評価（骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。）	有・無	人
膀胱水圧拡張術（間質性膀胱炎に係るものに限る。）	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法（歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。）	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援及びフルオロナビゲーションを用いたセメント除去術（人工股関節のたるみに係るものに限る。）	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術（直腸脱に係るものに限る。）	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建（骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。）	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション（原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。）	有・無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法（腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍（食道がん、胃がん又は大腸がん）、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。）	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行性がんに係るものに限る。）	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行性がんに係るものに限る。）	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断（EBウイルス感染症に係るものに限る。）	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術（尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍（精巣がんから転移したのものに限る。）又は骨盤リンパ節腫瘍（泌尿器がんから転移したのものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（白内障に係るものに限る。）	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断（遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断（フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。）	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断（先天性代謝異常（ライゾーム病に限る。）に罹患する可能性の高い胎児若しくは新生児又は先天性代謝異常（ライゾーム病に限る。）が疑われる小児に係るものであって、酸素補充療法による治療が出来ないものに限る。）	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術（手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。）	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断（甲状腺髄様癌に係るものに限る。）	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析（角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。）	有・無	人
強度変調放射線治療（限局性の固形悪性腫瘍（頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション（機能性及び器質性過多月経（ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。）であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。）	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査（EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。）	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助（ICD-10（統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件（平成二十一年総務省告示第百七十六号）の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。）においてF2（統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害）に分類される疾病及びF3（気分（感情）障害）に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者（器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術（下肢慢性静脈不全症（下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴（小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被膜冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。）	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（早期大腸がん（EMR（内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。）では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。）又は腺腫（EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援（骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。）	有・無	人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術（頸部良性腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術（転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。）	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	40人
カフェイン併用化学療法（骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術（プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。）	有・無	1人
筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療（ジストニア、痙性麻痺その他の局在の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。）	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（胸部悪性腫瘍（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（腎悪性腫瘍（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術（手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。）	有・無	3人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法（転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫（診断の確実なものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法（一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。）	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術（特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症（NIHF）例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの（妊娠二十週から三十四週未満に限る。）に係るものに限る。）	有・無	2人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
副甲状腺内活性型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法 (二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ 無	人
腹腔鏡補助下肢肝切除術 (部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ 無	人
根治性前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援 (前立腺がんに係るものに限る。)	有・ 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	62人	・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	13人
・多発性硬化症	63人	・ウェゲナー肉芽腫症	10人
・重症筋無力症	96人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	37人
・全身性エリテマトーデス	349人	・多系統萎縮症	10人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	30人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	58人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・原発性胆汁性肝硬変	15人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	173人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	50人	・特発性大腿骨頭壊死症	44人
・結節性動脈周囲炎	41人	・混合性結合組織病	42人
・潰瘍性大腸炎	97人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	34人	・特発性間質性肺炎	17人
・ピュルガー病	20人	・網膜色素変性症	19人
・天疱瘡	30人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	45人	・原発性肺高血圧症	7人
・クローン病	33人	・神経線維腫症	11人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	98人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	7人
・アミロイドーシス	8人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	28人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		1,608人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週7回程度		
剖検の状況	剖検症例数	60例	剖検率 20.0%

(様式第 11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
慢性心不全患者における心室3点同時ペーシングによる心機能改善の臨床的研究	関口幸夫	循環器(内)	208万円	㊤ 文部科学省 若手研究(B) 代表 委
徐脈性不整脈に対するHCN4遺伝子導入によるバイオペースメーカーの開発	村越伸行	循環器(内)	169万円	㊤ 文部科学省 若手研究(B) 代表 委
在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究	兵頭一之介	消化器(内)	80万円	㊤ 厚生労働科学 研究費 委
科学研究費基盤研究(B)「胆道系悪性腫瘍の表面分子を標的とする新しいイムノトキシン療法の開発」	正田純一	消化器(内)	1725万円	㊤ 平成20-22年 度文部科学省 委
科学研究費萌芽研究「胆道系悪性腫瘍の個別化医療に向けたレクチンマイクロアレイによる糖鎖分子マーカーの探索」	正田純一	消化器(内)	320万円	㊤ 平成19-20年 度文部科学省 委
科学研究費萌芽研究「肝内結石症からの胆道発癌プロセスと糖鎖分子マーカー活用による肝内胆管癌の早期診断」	正田純一	消化器(内)	320万円	㊤ 平成19-20年 度文部科学省 委
難治性疾患克服研究事業「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」	正田純一	消化器(内)	30万円	㊤ 厚生労働科学 研究費補助金 委
「蛍光偏光解消法を用いた消化管病変診断技術の開発」	金子剛	消化器(内)	157.3万円	㊤ 科学研究費補 助金 委

小計 8件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
「がんの診断治療用光学機器の開発」における分担研究 「蛍光手法(蛍光偏光解消法)を用いたがん診断技術の確立」	金子 剛	消化器(内)	180万円	④ 厚生労働省がん研究助成金 委
免疫アレルギー疾患予防治療	檜澤伸之	呼吸器(内)	100万円	④ 厚生労働省 委
喘息と慢性閉塞性肺疾患と共通病態の解明—分子病態に基づく新たな分類を目指して—	檜澤伸之	呼吸器(内)	455万円	④ 科学研究費補助金 委
敗血症性ARDSにおけるKeap1誘導性防御機構の解明とそれに基づく新規治療法開発	石井幸雄	呼吸器(内)	360万円	④ 科学研究費補助金 委
地域イノベーション創出総合支援事業「シーズ発掘試験」Nrf2システムを利用した癌細胞薬剤体制評価方の開発と応用	石井幸雄	呼吸器(内)	200万円	④ 科学技術振興機構 委
ディーゼル排気次世代に及ぼす影響に関する研究、特に母体曝露の子供の喘息に及ぼす影響について	石井幸雄	呼吸器(内)	315万円	④ 科学研究費補助金 委
新規サイトカインIL-17Fの気道リモデリングへの関与	川口未央	呼吸器(内)	169万円	④ 科学研究費補助金 委
巣状糸球体硬化病変形性における糸球体上皮細胞脱落とミトコンドリア機能異常の研究	萩原正大	腎泌尿器(内)	70万円	④ 科学研究費補助金(若手研究B) 委

小計 8件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
急性進行性糸球体腎炎における DNAM-I (CD226) の役割	甲斐平康	腎泌尿器 (内)	134 万円	㊦ 科学研究費補助金 (若手スタートアップ) 委
胎児腎臓幹細胞分化の分子基盤解明とそのアッセイ法の開発	臼井丈一	腎泌尿器 (内)	160 万円	㊦ 科学研究費補助金 (若手研究 B) 委
転写因子 MafB による糖尿病性腎症の制御	森戸直記	腎泌尿器 (内)	150 万円	㊦ 科学研究費補助金 (基礎研究 C) 委
新規 Maf 群転写因子関連糖尿病性腎症モデルマウスの作製および解析	楊景堯	腎泌尿器 (内)	110 万円	㊦ 科学研究費補助金 (基礎研究 C) 委
蛋白結合率の高いアニオン型尿毒症物質を除去するパイブリッド型人工腎臓の開発	鶴岡秀一	腎泌尿器 (内)	90 万円	㊦ 厚生労働省 (基礎研究 C) 委
腎疾患重症化予防のための戦略研究	山縣邦弘	腎泌尿器 (内)	1300 万円	㊦ 厚生労働省 委
進行性腎障害に関する調査研究	山縣邦弘	腎泌尿器 (内)	240 万円	㊦ 厚生労働省 委
今後の特定検診・保健指導における慢性腎臓病の位置づけに関する検討	山縣邦弘	腎泌尿器 (内)	200 万円	㊦ 厚生労働省 委
ANCA 関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究班	山縣邦弘	腎泌尿器 (内)	40 万円	㊦ 厚生労働省 委
人工ガンマグロブリンの製剤化への安全性と臨床試験に向けた評価系確立	山縣邦弘	腎泌尿器 (内)	35 万円	㊦ 厚生労働省 委

小計 10 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
腎機能分子（メガリン、ポドカリキシン）の尿中濃度測定による腎機能障害の臨床診断の有用性評価に関する研究	山縣邦弘	腎泌尿器（内）	90万円	④ 産学連携共同研究費テック生研株式会社 委
前立腺がんのリスク評価と化学予防	赤座英之	腎泌尿器（外）	1620万円	④ 文部科学省 委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究（JCOG study）	宮永直人	腎泌尿器（外）	30万円	④ 厚生労働省 委
抗原提示能に応じた選択的癌細胞療法の開発	赤座英之	腎泌尿器（外）	75万円	④ TARAプロジェクト 委
腎細胞癌に対する免疫細胞療法と血管新生阻害薬の新規併用療法の開発に向けた基礎研究	及川剛宏	腎泌尿器（外）	78万円	④ 文部科学省 委
重篤副作用別対応マニュアルー出血性膀胱炎	島居 徹	腎泌尿器（外）	100万円	④ 厚生労働省 委
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究	山田信博	内分泌代謝・糖尿病内科	5000万円	④ 厚生労働省 委
原発性高脂血症に関する調査研究	山田信博	内分泌代謝・糖尿病内科	1600万円	④ 厚生労働省 委
日本の臨床研究推進に関する調査研究	山田信博	内分泌代謝・糖尿病内科	1300万円	④ 文部科学省 委
脂質エネルギー代謝科学の国際教育・研究拠点	山田信博	内分泌代謝・糖尿病内科	500万円	④ フレ戦略イニシアチブ 委
新規生活習慣病改善転写因子 TFE3 の多面的代謝作用機構の解析 基盤研究(B)一般	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	560万円	④ 文部科学省 委

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
新規膜結合型転写因子 CREB-H のエネルギー代謝調節メカニズム	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	320 万円	㊤ 文部科学省 萌芽的研究 委
転写因子 SREBP-1 / 2 の標的配列特異性を決定する共因子の解明	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	370 万円	㊤ 文部科学省 萌芽的研究 委
脂肪酸組成のコントロールを基盤とした生活習慣病の新規治療法の開発	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	200 万円	㊤ 東京生化学研究会 委
肝細胞内脂肪酸組成の制御による新規生活習慣病治療の開発	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	100 万円	㊤ 日本糖尿病財団 委
骨格筋における PPAR δ 発現がインスリン抵抗性に及ぼす影響に関する検討	鈴木浩明	内分泌代謝・糖尿病内科	130 万円	㊤ 文部科学省 委
メタボリックシンドローム治療に向けた脂質転写因子 SREBP-1 機能抑制効果の検討	高橋昭光	内分泌代謝・糖尿病内科	150 万円	㊤ 文部科学省 委
ヒト膵導管細胞を利用した糖尿病の新しい治療法の開発	矢藤 繁	内分泌代謝・糖尿病内科	150 万円	㊤ 文部科学省 委
SREBP-1c による糖尿病性合併症発症のオートループ機構	小林和人	内分泌代謝・糖尿病内科	150 万円	㊤ 文部科学省 委
内視鏡下甲状腺がん手術の有効性、安全性の確認	原 尚人	乳腺甲状腺内分泌外科	1000 万円	㊤ 厚生労働省 科学研究費補助金 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	住田孝之 (代表)	膠原病リウマチアレルギー内科	1200 万円	㊤ 厚生労働省 委

小計 10 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発	住田孝之	膠原病リウマチアレルキ-内科	300万円	㊤ 厚生労働省 委
間接リウマチの早期診断による発症及び重症化予防	住田孝之	膠原病リウマチアレルキ-内科	250万円	㊤ 厚生労働省 委
間接リウマチの寛解導入療法体系化に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルキ-内科	250万円	㊤ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルキ-内科	150万円	㊤ 厚生労働省 委
間接リウマチの間接破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復法の開発に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルキ-内科	250万円	㊤ 厚生労働省 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	松本 功	膠原病リウマチアレルキ-内科	200万円	㊤ 厚生労働省 委
多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリムスの治験(治験推進事業)	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルキ-内科	250万円	㊤ 厚生労働省 委
ANCA 関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルキ-内科	30万円	㊤ 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	後藤大輔	膠原病リウマチアレルキ-内科	70万円	㊤ 厚生労働省 委
シェーグレン症候群発症の分子機構：M3Rに対する免疫応答解析	住田孝之	膠原病リウマチアレルキ-内科	130万円	㊤ 文部科学省 委
自己免疫誘導性関節炎の制御機構と治療	松本 功	膠原病リウマチアレルキ-内科	120万円	㊤ 文部科学省 委

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
自己免疫疾患における可溶性 CD1d 分子による病態制御機構の解明	後藤大輔	膠原病リウマチアレルギー-内科	140 万円	㊦ 文部科学省 委
関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究	伊藤 聡	膠原病リウマチアレルギー-内科	30 万円	㊦ 文部科学省 委
シェーグレン症候群発症における分子機構の解明	若松 英	膠原病リウマチアレルギー-内科	90 万円	㊦ 文部科学省 委
シェーグレン症候群の発症における分子機構解析	中村友美	膠原病リウマチアレルギー-内科	60 万円	㊦ 文部科学省 委
造血器腫瘍成立における細胞環境シグナルの役割	千葉 滋	血液内科	884 万円	㊦ 科学研究費補助金基盤研究 (B) 委
がんにおける Notch シグナル異常の解析とこれを標的とした抗腫瘍療法開発研究	千葉 滋	血液内科	550 万円	㊦ 科学研究費補助金特定領域研究 委
ヒト造血細胞を用いた慢性骨髄性慢性白血病の再構築	千葉 滋	血液内科	200 万円	㊦ 高松宮妃癌研究基金研究助成 委
「Delta1-Fc を利用した体外増幅臍帯血造血幹を用いる複数臍帯血移植の臨床試験」に関する研究	千葉 滋	血液内科	100 万円	㊦ 先進医薬研究振興財団 委
アテムツズマブを用いた HLA 不一致同種造血幹細胞移植療法の医師主導治験および造血幹細胞移植領域における医師主導治験発展のため研究	千葉 滋	血液内科	50 万円	㊦ 厚生労働省科学研究費補助金 委

小計 9 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	千葉 滋	血液内科	100万円	㊤ 厚生労働省 科学研究費補助金 委
iPS細胞由来肥満細胞の作製	大越 靖	血液内科	20万円	㊤ 筑波大学学内研究プロジェクト 委
Notchシグナルによる肥満細胞の分化制御機構の解明「マウスからヒトへ」	坂田麻実子	血液内科	100万円	㊤ 先進医薬研究振興財団科研費若手スタートアップ 委
移植片対宿主病においてNotchシグナルが担う免疫調節機構の解明	錦井秀和	血液内科	174.2万円	㊤ 日本学術振興会科研費若手スタートアップ 委
移植片対宿主病においてNotchシグナルが担う免疫調節機構の解明	錦井秀和	血液内科	500万円	㊤ 中島記念国際交流財団 委
厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)神経皮膚症候群に関する調査研究	大塚藤男(研究代表者) 川内康弘(研究分担者)	皮膚	3200万円	㊤ 厚生労働省 委
厚生労働省がん研究助成金 DNAメチル化異常に着目した診断治療法の開発	大塚藤男(研究分担者)	皮膚	100万円	㊤ 厚生労働省 委
科学研究費基盤研究(B)「肝胆膵の発生・分化の分子機構の解明とその障害による小児疾患の病態解析」	須磨崎 亮	小児(内)	351万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費萌芽研究「生活習慣病の胎児期起源を裏づける分子機構の解明」	須磨崎 亮	小児(内)	210万円	㊤ 日本学術振興会 委

小計 9 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
科学研究費基盤研究 (C)「IGFBP-1 遺伝子多型が身長発育およびインスリン感受性に及ぼす影響に関する研究」	鴨田 知博	小児(内)	143万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費基盤研究 (C)「凝固線溶系からみた小児期メタボリックシンドロームの特徴と効果的介入法に関する研究」	堀米 仁志	小児(内)	91万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費基盤 A「 神経芽腫臨床試験を基盤とした基礎医学的研究 およびトランスレーショナルリサーチ」	金子道夫	小児外科	1160万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費萌芽「間質細胞を標的とした難治性小児悪性固形腫瘍の耐性克服の研究」	金子道夫	小児外科	120万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費萌芽「幹細胞生物学から見た小児外科疾患の病態解明」	小室広昭	小児外科	190万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費萌芽「乳酸系生体吸収性材料を基盤に用いたコンジットグラフトによる気管再建の研究」	楯川幸弘	小児外科	120万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費若手 B「P LGA-collagen hybrid meshを用いた横隔膜の再生」	瓜田泰久	小児外科	180万円	㊤ 日本学術振興会 委
科学研究費基盤 C「鎖肛プタモデルにおける多因子遺伝研究 - GLI2 の網羅的遺伝子座相互作用分析	工藤寿美	小児外科	20万円	㊤ 日本学術振興会 委

小計 8 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
分光側色計を用いた ステージ別ケロイド 治療法の確立	関堂 充	形成	40万円	㊦ 筑波大学 委
カーボンナノホーンをキャリア とする創傷に対す るドラッグデリバリーシ ステムの開発	関堂 充	形成	79万円	㊦ 科学研究費 萌芽 委
Neural-supercharge による顔面神経不全 麻痺の外科的治療法 開発	関堂 充	形成	51万円	㊦ 科学研究費 基盤 B 委
水晶体におけるアミ ロイドβ蛋白の解析 と認知機能との相関 に関する研究	玉岡 晃	脳神経(内)	150万円	㊦ 文部科学省科 学研究費補助 金 委
アミロイドーシスに 関する調査研究	玉岡 晃	脳神経(内)	90万円	㊦ 厚生労働省科 学研究費補助 金 委
孤発性筋萎縮性側索 硬化症における RNA 編集新規基質の探索 とバイオマーカーの 開発	詫間 浩	脳神経(内)	150万円	㊦ 文部科学省科 学研究費補助 金 委
治験の実施に関する 研究 [L-アルギニン]	石井亜紀子	脳神経(内)	100万円	㊦ 厚生労働省科 学研究費補助 金 委
有機ヒ素化合物によ る中枢神経系への長 期影響の解明	石井一弘	脳神経(内)	767万円	㊦ 文部科学省科 学研究費補助 金 委

小計 8 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
平成20年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) 若年層における脳血流シンチグラフ(123-I-IMP-SPECT)の正常対照群データベース作成	石井一弘	脳神経(内)	900万円	補 ⑤ 環境省
平成20年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) ジフェニルアルシン酸による脳幹小脳機能の神経生理学的解析法の確立	玉岡 晃	脳神経(内)	470万円	補 ⑤ 環境省
平成20年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(毒性班) カニクイザルにおけるジフェニルアルシン酸の中樞神経影響	玉岡 晃	脳神経(内)	1200万円	補 ⑤ 環境省
ホウ素ナノデバイス型中性子捕捉療法	松村 明	脳神経(外)	800万円	⑤ 厚生労働省(医療機器開発推進研究事業) 委
発達期における骨格系と髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	松村 明	脳神経(外)	80万円	⑤ 厚生労働省 委
熱外中性子を用いた悪性脳腫瘍に対する細胞選択的次世代粒子線治療の研究	松村 明	脳神経(外)	520万円	⑤ 文部科学省 委
汎用粒子線治療用モンテカルロ線量評価技術の研究開発	松村 明	脳神経(外)	80万円	⑤ 文部科学省 委

小計7件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
悪性脳腫瘍に対する ヒト脳腫瘍由来血管 内皮細胞ワクチン治 療	高野晋吾	脳神経（外）	100万円	㊦ CREIL 委
悪性脳腫瘍に対する 体内ワクチン療法の 萌芽的研究	坪井康次、 石川栄一	脳神経（外）	105万円	㊦ 文部科学省 委
悪性脳腫瘍に対する ワクチン療法	石川栄一	脳神経（外）	20万円	㊦ 筑波大学 委
悪性腫瘍に対する血 管内皮前駆細胞を用 いた血管新生抑制療 法	高野晋吾	脳神経（外）	100万円	㊦ 文部科学省 委
悪性脳腫瘍に対する ヒト脳腫瘍由来血管 内皮細胞ワクチン治 療	高野晋吾	脳神経（外）	100万円	㊦ がん集学的治療 研究財団 委
神経内視鏡による深 部脳腫瘍の生物学的 特性診断（腫瘍血管新 生と低酸素状態）と vascular targeting 療法の確立	高野晋吾	脳神経（外）	50万円	㊦ 内視鏡医学研究 振興財団 委
膠芽腫由来血管内皮 細胞を標的とした血 管新生抑制療法の開 発および腫瘍内皮幹 細胞の同定	高野晋吾	脳神経（外）	50万円	㊦ 日本脳神経財団 委
膜融合粒子を用いた ホウ素中性子捕捉療 法の基礎的検討	中井 啓	脳神経（外）	130万円	㊦ 文部科学省 委
末梢神経緩徐伸長に よる神経欠損間隙修 復法の開発	落合直之	整形外科	637万円	㊦ 科学研究費補 助金（基盤研究 B） 委：
骨髄細胞移植と R u n x 2 遺伝子導入に よる大腿骨頭壊死の 骨再生の研究	三島初	整形外科	180万円	㊦ 科学研究費補 助金（萌芽研 究） 委：
骨補填材の設計	落合直之	整形外科	1054万円	㊦ 一般受託研究 委

小計 11 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
増殖糖尿病網膜症における蛋白糖化最終産物の役割	加治優一	眼科	110万円	㊤ 科学研究補助 金若手B 委
緑内障に対する線維柱帯切除術後の光干涉断層計のよる形態・偏光特性の評価	川名啓介	眼科	100万円	㊤ 科学研究補助 金若手B 委
高速Swept Source干涉断層計の開発と前眼部の3次元・定量的解析	大鹿哲郎	眼科	468万円	㊤ 科学研究補助 金基盤研究(B) 委
心磁計測を導入した新しい系統的胎児不整脈検査・診断システムの構築	濱田洋実	婦人周産期	140万円	㊤ 文部科学省 委
抗癌剤に高感受性の卵巣癌由来細胞株の樹立及び抗癌剤治療モデルの創出	沖 明典	婦人周産期	110万円	㊤ 文部科学省 委
治療前婦人科がん不顕性血栓塞栓症発見法と顕性化予防法の確立および発生機序の解明	佐藤豊実	婦人周産期	143万円	㊤ 文部科学省 委
子宮頸癌撲滅のためのHPV型共通予防ワクチンの開発と治療ワクチンの基礎的研究	吉川裕之	婦人周産期	480万円	㊤ 文部科学省 委
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	吉川裕之	婦人周産期	2269.8万円	㊤ 厚生労働省 委
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨床のデータに基づき、医薬品の催奇形性リスクの評価見直しに関する研究	吉川裕之	婦人周産期	1400万円	㊤ 厚生労働省 委

小計 9 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法の開発に関する研究	吉川裕之	婦人周産期	120万円	㊤ 厚生労働省 委
進行・再発子宮頸がんに対する標準的治療体系の確立に関する研究	吉川裕之	婦人周産期	100万円	㊤ 厚生労働省 委
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	吉川裕之	婦人周産期	120万円	㊤ 厚生労働省 委
子宮頸部発癌における喫煙の関与とそのしくみ	吉川裕之	婦人周産期	400万円	㊤ 喫煙科学研究財団 委
外科系臨床学分野に関する学術動向の調査・研究	吉川裕之	婦人周産期	350万円	㊤ 日本学術振興会 委
放射線治療に資するがん制御遺伝子解析研究	吉川裕之	婦人周産期	105万円	㊤ 一般受諾研究 委
内耳性難聴の機序の解明とステロイドホルモンの作用機序の基礎的研究	飛田忠道	耳鼻咽喉科	70万円	㊤ 文部科学省 委
耳毒性物質による蝸牛障害の成因の解明と治療に関する研究	田淵経司	耳鼻咽喉科	195万円	㊤ 科学研究費補助金基盤研究(C) 委
内耳性難聴の機序の解明と治療	辻 茂希	耳鼻咽喉科	31万円	㊤ 科学研究費補助金基盤研究(C) 委
急性感音難聴におけるステロイド Target gene 作用点の解明	廣瀬由紀	耳鼻咽喉科	325万円	㊤ 科学研究費補助金(若手B) 委
プラスミドを用いた難治性疼痛に対する基礎的研究	清水 健	麻酔	90万円	㊤ 科学研究補助金基盤研究(c) 委

小計 11件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
麻酔覚醒反応におけるオレキシン産生	高橋・宏	麻酔	260万円	㊦ 科学研究補助金基盤研究(c)委
オレキシン系を介した静脈麻酔作用の解明	山本純偉	麻酔	169万円	㊦ 科学研究補助金基盤研究(c)委
急性ストレス時の鎮痛反応におけるニューロステロイドの役割	福田妙子	麻酔	169万円	㊦ 科学研究補助金基盤研究(c)委
科研費補助金(若手B)造血幹細胞移植患者における包括的な口腔管理に関する臨床研究	山縣 憲司	歯・口腔	143万円	㊦ 文部科学省委
科研費補助金(基盤B)酸化ストレスタンパク質コンディショナルノックアウトマウスを用いた口腔病変の解析	吉田 廣	歯・口腔	689万円	㊦ 文部科学省委
シーズ発掘試験:生活習慣病モデルマウスを用いた薬剤効果スクリーニング法の開発	柳川 徹	歯・口腔	200万円	㊦ 独立行政法人科学技術振興機構委
茨城県下の病院前救護の実態把握と救命率向上の体制構築に関する研究	安田 貢	救急・集中治療	20万円	㊦ 筑波大学委
骨格筋拡散ラソル画像の臨床応用の試み	岡本嘉一	放射線診断・IVR	200万円	㊦ 日本学術振興会委
シスプラチンの細胞内画像化、定量化に関する基礎的解析	櫻井英幸	放射線腫瘍科	90万円	㊦ 文部科学省委
陽子線照射と免疫補助療法を併用する新たな肝癌治療法の開発	坪井康次	放射線腫瘍科	520万円	補 ㊦ いばらき研究開発推進事業

小計 10 件

研究課題名	研究者氏名	診療部門	金額	補助元 又は委託元
頭蓋内病変に対する陽子線治療の最適化に関する基礎的研究	坪井康次	放射線腫瘍科	710万円	㊦ 文部科学省 委
悪性脳腫瘍に対する体内ワクチン療法の萌芽的研究	坪井康次	放射線腫瘍科	110万円	㊦ 文部科学省 委
肺がん病理学的研究	野口雅之	病理学的診断	1136万円	㊦ 厚生労働省が がん研究助成金 委
胎児抗原に着目した腫瘍関連蛋白の網羅的探索と診断・治療への応用	野口雅之	病理学的診断	200万円	㊦ 科学研究費補 助金（萌芽研 究） 委
NEDO「肺癌の新たな糖鎖腫瘍マーカーの開発」	野口雅之	病理学的診断	286万円	㊦ 経済産業省バ イオテクノロジー組合 委
肺腺がんおよびその背景病変の病理とがん発生要因の関係についての解析	森下由紀雄	病理学的診断	170万円	㊦ 厚生労働省が がん研究助成金 委
肺腺がんの発生及び悪性化における新規がん関連遺伝子OCIAD2の係わり	南 優子	病理学的診断	160万円	㊦ 科学研究費補 助金（基盤研究 （C）） 委

小計 7 件

合計 147 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Heart J. 29(4), 490-498, 2008	Early validation study of 64-slice multidetector computed tomography for the assessment of myocardial viability and the prediction of left ventricular remodeling after acute myocardial infarction	Satoh A, Hiroe M, Nozato T, Hikita H, Ito Y, Ohigashi H, Tamura M, Takahashi A, Isobe M, Aonuma K.	循環器 (内)
Circ J. 72(1), 120-126, 2008	Right bundle branch block and impaired left ventricular function as evidence of a left ventricular conduction delay	Takamatsu H, Tada H, Okaniwa H, Toide H, Maruyama H, Higuchi R, Kaseno K, Naito S, Kurabayashi M, Oshima S, Taniguchi K.	循環器 (内)
J Appl Physiol. 104(1), 67-74, 2008	Sex differences in steroidogenesis in skeletal muscle following a single bout of exercise in rats	Aizawa K, Iemitsu M, Otsuki T, Maeda S, Miyauchi T, Mesaki N.	循環器 (内)
J Cardiovasc Electrophysiol. 19(5), 495-501, 2008	Electrocardiographic characteristics of the variants of idiopathic left ventricular outflow tract ventricular tachyarrhythmias	Kumagai K, Fukuda K, Wakayama Y, Sugai Y, Hirose M, Yamaguchi N, Takase K, Yamauchi Y, Takahashi A, Aonuma K, Shimokawa H.	循環器 (内)
Europace. 10(4), 502-504, 2008	Triangle ventricular pacing in a non-responder to conventional bi-ventricular pacing	Yoshida K, Yokoyama Y, Seo Y, Sekiguchi Y, Aonuma K.	循環器 (内)
Am J Cardiol. 101(6), 882-886, 2008	Association of sleep-disordered breathing and ventricular arrhythmias in patients without heart failure	Koshino Y, Satoh M, Katayose Y, Yasuda K, Tanigawa T, Takeyasu N, Watanabe S, Yamaguchi I, Aonuma K.	循環器 (内)
Mol Cell Biol. 28(4), 1285-1297, 2008	Abnormal heart development and lung remodeling in mice lacking the hypoxia-inducible factor-related basic helix-loop-helix PAS protein NEPAS	Yamashita T, Ohneda O, Nagano M, Iemitsu M, Makino Y, Tanaka H, Miyauchi T, Ohneda K, Goto K, Fujii-Kuriyama Y, Poellinger L, Yamamoto M.	循環器 (内)

小計 7件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Nucl Med. 49(4), 564-572, 2008	Quantitative measures of coronary stenosis severity by 64-Slice CT angiography and relation to physiologic significance of perfusion in nonobese patients: comparison with stress myocardial perfusion imaging	Satoh A, Hiroe M, Tamura M, Ohigashi H, Nozato T, Hikita H, Takahashi A, Aonuma K, Isobe M.	循環器 (内)
Heart Rhythm. 5(3), 419-426, 2008	Idiopathic ventricular arrhythmias arising from the pulmonary artery: prevalence, characteristics, and topography of the arrhythmia origin	Tada H, Tadokoro K, Miyaji K, Ito S, Kurosaki K, Kaseno K, Naito S, Nogami A, Oshima S, Taniguchi K.	循環器 (内)
Circ J. 72(4), 582-587, 2008	Effect of left atrial ablation on the quality of life in patients with atrial fibrillation	Miyazaki S, Kuwahara T, Takahashi A, Kobori A, Takahashi Y, Nozato T, Hikita H, Satoh A, Aonuma K, Hirao K, Isobe M.	循環器 (内)
J Cardiovasc Electrophysiol. 19(9), 935-938, 2008	Effect of Cardiac Resynchronization Therapy in Isolated Ventricular Noncompaction in Adults: Follow-Up of Four Cases	Oginosawa Y, Nogami A, Soejima K, Aonuma K, Kubota S, Sato T, Sugiyasu A, Yoshida K, Kowase S, Sakamaki M, Kurosaki K, Kato K.	循環器 (内)
Circ J. 72(5), 855-860, 2008	Reentrant ventricular tachycardia originating in the right ventricular outflow tract: slow conduction identified by right coronary artery ostium pacing	Nakano E, Harada T, Ikeda K, Nakazawa K, Wakimoto H, Miyake F, Aonuma K, Suzuki F.	循環器 (内)
Circ J. 72(5), 687-693, 2008	A novel mutation associated with Jervell and Lange-Nielsen syndrome in a Japanese family	Ohno S, Kubota T, Yoshida H, Tsuji K, Makiyama T, Yamada S, Kugak, Yamaguchi I, Kita T, Horie M.	循環器 (内)
Int Heart J 49(3), 249-260, 2008	Effect of hospital case volume on treatment and in-hospital outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction. Results from the Ibaraki Coronary Artery Disease Study (ICAS) Registry	Ohtsuka Machino T, Toyama M, Obara K, Takeyasu N, Watanabe S, Aonuma K, Ibaraki Coronary Artery Disease Study (ICAS) Registry.	循環器 (内)

小計 7件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J. 72(7), 1112-1119, 2008	Feasibility of targeting catheter ablation to the markedly low-voltage area surrounding infarct scars in patients with post-infarction ventricular tachycardia	Yoshida K, Sekiguchi Y, Tanoue K, Endo M, Suzuki A, Kanemoto M, Yamasaki H, Yamauchi Y, Takahashi A, Kuga k, Yamaguchi I, Aonuma K.	循環器 (内)
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 295(1), H136-H144, 2008	The benefit of medium-chain triglyceride therapy on the cardiac function of SHR associated with a reversal of metabolic and signaling alterations	Iemitsu M, Shimojo N, Maeda S, Irukayama-Tomobe Y, Sakai S, Ohkubo T, Tanaka Y, Miyauchi T.	循環器 (内)
Circ J. 72(9), 1465-1470, 2008	Clinical utility of 3-dimensional echocardiography in the evaluation of tricuspid regurgitation caused by pacemaker leads	Seo Y, Ishizu T, Nakajima H, Sekiguchi Y, Watanabe S, Aonuma K.	循環器 (内)
J Nucl Cardiol. 15(5), 671-679, 2008	Stunned myocardium in transient left ventricular apical ballooning: a serial study of dual I-123 BMIPP and Tl-201 SPECT	Satoh A, Aonuma K, Nozato T, Sekiguchi Y, Okazaki O, Kubota K, Hiroe M.	循環器 (内)
Br J Cancer. 99(7), 1034-103, 2008	Silent venous thromboembolism before treatment in endometrial cancer and the risk factors	Satoh T, Matsumoto K, Uno K, Sakurai M, Okada S, Onuki M, Minaguchi T, Tanaka Y, Homma S, Oki A, Yoshikawa H.	循環器 (内)
Eur J Heart Fail. 10(11), 1094-1101, 2008	Stratification of impaired relaxation filling patterns by passive leg lifting in patients with preserved left ventricular ejection fraction	Ishizu T, Seo Y, Kawano S, Watanabe S, Ishimitsu T, Aonuma K.	循環器 (内)
Nat Genet. 2008 Jun;40(6):730-40.	Genetic variation in PSCA is associated with susceptibility to diffuse-type gastric cancer	Yoshimura K, Hyodo I, et al.	消化器 (内)
Jpn J Clin Oncol. 2008 Jun;38(6):432-7.	A phase II study of sequential methotrexate and 5-fluorouracil chemotherapy in previously treated gastric cancer: a report from the Gastrointestinal Oncology Group of the Japan Clinical Oncology Group, JCOG 9207 trial.	Hamaguchi T, Hyodo I, et al.	消化器 (内)

小計 8件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Drugs. 2008 Sep;19(8):819-24.	Prediction of the effect of capecitabine in gastric cancer by immunohistochemical staining of thymidine phosphorylase and dihydropyrimidine dehydrogenase.	Koizumi W, Okayasu I, Hyodo I, et al	消化器 (内)
Jpn J Clin Oncol. 2008 Aug;38(8):511.	How should oncologists face complementary and alternative medicine?	Hyodo I	消化器 (内)
Am J Physiol 295: G735- G747, 2008	Ursodeoxycholic acid exerts Nrf2-mediated stimulation of hepatobiliary transport, detoxification and antioxidative stress systems.	Okada, K., Shoda, J., Taguchi, K., Goto, N., Takeda, K., Utsunomiya, H., Oda, K., Warabi, E., Ishii, T., Osaka, K. Yamamoto, M.	消化器 (内)
Eur J Cancer. 2008 May;44(7):1048-56	MUC4 interacts with ErbB2 in human gallbladder carcinoma: potential pathobiological implications.	Miyahara N, Shoda J, Ishige K, Kawamoto T, Ueda T, Taki R, Ohkohchi N, Hyodo I,	消化器 (内)
Hepatology Res 39:490-500, 2009	Acarbose, an α -glucosidase inhibitor, prevents obesity and hepatic steatosis in SQSTM1/A170/p62-deficient mice.	Okada, K., Yanagawa, T., Warabi, E., Yamastu, K., Uwayama, J., Takeda, K., Utsunomiya, H., Yoshida, H., Shoda, J., Ishii, T.	消化器 (内)
Int J Cancer 123:2915-2922, 2008	A new and effective therapeutic option using interleukin-4-conjugated <i>Pseudomonas</i> exotoxin for biliary tract carcinoma.	Ishige, K., Shoda, J., Kawamoto, T., Machida, S., Ueda, T., Hyodo, I., Ohkohchi, N., Puri, R. K., Kawakami, K.	消化器 (内)

小計 6件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
In Vitro Cell Dev Biol Anim, 44 (1-2): 26-30.	Neoplastic transformation and induction of H ⁺ , K ⁺ -adenosine triphosphatase by N-methyl-N'-nitro-N-nitrosoguanidine in the gastric epithelial RGM-1 cell line.	下川治、松井裕史、金子剛	消化器 (内)
Tohoku J Exp Med. 2008 Dec;216(4):331-9.	Hepatocyte-specific deletion of heme oxygenase-1 disrupts redox homeostasis in basal and oxidative environments.	Mamiya T, Katsuoka F, Hirayama A, Nakajima O, Kobayashi A, Maher JM, Matsui H, Hyodo I, Yamamoto M, Hosoya T.	消化器 (内)
Cancer Gene Therapy	E1A, E1B double-restricted replicative adenovirus at low dose greatly augments tumor-specific suicide gene therapy for gallbladder cancer.	Fukuda K, Abei M, Seo E, Wakayama M, Kawashima R, Endo S, Hyodo I.	消化器 (内)
Radiology	Radiofrequency Ablation of the Liver: Determination of Ablative Margin at MR Imaging with Impaired Clearance of Ferucarbotran--Feasibility Study.	Fukuda K.	消化器 (内)
Eur Respir J 32(2):372-8 2008	The Hokkaido COPD Cohort Study Group Functional SNPs of the CCL5 gene and non-emphysematous phenotype in patients with COPD	Hizawa N. Makita H. Nasuhara Y. Hasegawa M. Nagai K. Ito Y. Betsuyaku T. Konno S. Nishimura M.	呼吸器 (内)
Am J Emerg Med. 26(1):116. e1-2 2008.	Spontaneous pneumomediastinum after air travel	Kikuchi N. Ishii Y. Satoh H. Ohtsuka M. Hizawa N. Ohta Y.	呼吸器 (内)
Lung Cancer. 2008 Dec 1. [Epub ahead of print]	Lung cancer in patients aged 80 years and over.	Satoh H. Kurishima K. Nakamura R. Ishikawa H. Kagohashi K. Ohara G. Ishikawa S. Ohtsuka M. Sekizawa K. Hizawa N.	呼吸器 (内)

小計 7件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Tubercle Thorax 56(4):485, 2008	Pleural metastasis from soft tissue sarcoma	Satoh H. Sekizawa K.	呼吸器 (内)
Intern Med. 47(3):157-160. 2008	Pulmonary sequestration with elevated serum level of progastrin-releasing peptide.	Masuko H. Satoh H. Miyazaki K. Kikuchi N. Kondo Y. Ohtsuka M. Hizawa N.	呼吸器 (内)
Free Radic Res. 42(11-12):921-9. 2008	Diversity of protein carbonylation in allergic airway inflammation	Nagai K. Betsuyaku T. Konno S. Ito Y. Nasuhara Y. Hizawa N. Kondo T. Nishimura M.	呼吸器 (内)
Lung Cancer 59(1): 138. 2008	Prognostic markers for stage I non-small cell lung cancer	Ohara G. Satoh H. Hizawa N.	呼吸器 (内)
Lung Cancer 59(1): 138 2008	KL-6 and poor prognosis in NSCLC patients treated with gefitinib	Ohara G. Kurishima K. Ishikawa H. Satoh H. Hizawa N.	呼吸器 (内)
Med. Oncol 25(2):187-189 2008	A re-evaluation of squamous cell carcinoma antigen (SCC) as a serum marker for non-small cell lung cancer	Kagohashi K. Homma S. Satoh H. Ishikawa H Ohtsuka M Sekizawa K	呼吸器 (内)
Am. J. Emarg. Med. 26(1): 116.e1-116.e2 2008	Spontaneous pneumomediastinum after air travel	Kikuchi N. Ishii Y. Satoh H. Ohtsuka M. Hizawa N. Ohta Y.	呼吸器 (内)
Anticancer Res. 28(5B): 3153-3155 2008	Diagnostic procedures for small pulmonary nodules detected by mass-screening	Kanemoto K Satoh H Ishikawa H Kagohashi K Kurishima K Sekizawa K	呼吸器 (内)
Med. Oncol. 25(4): 443-446 2008	Lung Cancer Patients with Previous or Simultaneous Urologic Cancers	Miyazaki K. Satoh H. Kagohashi K. Kurishima K, Ishikawa H, Ohtsuka M. Sekizawa K.	呼吸器 (内)
Oncologie 31(12): 708 2008	Skip metastasis to abdominal lymph nodes from lung adenocarcinoma	Nakazawa K. Satoh H. Ohtsuka M. Sekizawa K.	呼吸器 (内)
日本胸部臨床 Vol.67, 622-628, 2008	急速に進行し、生前診断が困難であった肉腫型悪性中皮腫の1例	菊地教大 谷田貝洋 遠藤健夫 加藤智也 大谷明夫 森島祐子 石井幸雄 檜澤伸之	呼吸器 (内)

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日呼吸会誌 46(12): 972-980, 2008	喘息におけるロイコトリエン受容 体拮抗薬の有効性とその背景の検 討-アンケート調査の結果-	福居嘉信 檜澤伸之 高橋大輔 前田由起子 小林基子 南須原康行 西村正治	呼吸器 (内)
Ann. Thorac. Surg. 86(3):1036-1037, 2008	Novel retractor for lymph node dissection by video-assisted thoracic surgery.	Sato Y. et al	呼吸器 (外)
Eur Radiol 18:522-528, 2008.	Prone positioning improves distribution of pulmonary perfusion: noninvasive magnetic resonance imaging study in healthy humans.	Suzuki H. Sato Y. Mizutani T. Onizuka M. Sakakibara Y.	呼吸器 (外)
胸部外科 61(11):993-995, 2008.	血清 ProGRP が異常高値を示した非 定型的カルチノイドの 1 例	佐藤幸夫 他	呼吸器 (外)
胸部外科 61(3):195-198, 2008.	気管支腔内にポリープ状に発生し た inflammatory pseudotumor	佐藤幸夫 他	呼吸器 (外)
胸部外科 61(11):934-938, 2008.	肺癌に対する気管・気管支形成術の 成績	佐藤幸夫 他	呼吸器 (外)
気管支学 30(1):25-28, 2008.	ガイドワイヤー下に気管支充填術 を施行し治療しえた有癭性膿胸の 1 例	佐藤幸夫 他	呼吸器 (外)
European Journal of Cardio-thoracic Surgery;33:1139, 2008	Multiple endobronchial carcinomas appearing 3 months after segmentectomy for lung cancer	Shigemi Ishikawa, Ryo Usui, Tatsuo Iijima, Masataka Onizuka	呼吸器 (外)
In Vivo 2009;23: 291-296	Blood flow velocity is reduced in a tumor micro-dissemination in the visceral pleura in anesthetized open-chest rat lung.	Yan Wang, 他	呼吸器 (外)
Ann Thorac Surg 85:664, 2月, 2008	Pneumopericardium 3 years after lung cancer surgery	Imai A. Ishikawa S, 他	呼吸器 (外)
J Thorac Oncol 3:270-276, 3月, 2008	Pathologic Radioresponse of Preoperatively Irradiated Invasive Thymomas	Onuki T, Ishikawa S, Yamamoto T. 他	呼吸器 (外)

小計 11 件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
気管支学 30(5):252-256, 9月, 2008	肺ノカルジア症に合併した難治性 気胸に対し気管支充填術が有効で あった1例	太田恭子, 角 昌晃, 石川成美:	呼 吸 器 (外)
Eur J Cardiothorac Surg 34:1257-9, 12 月, 2008	Transtracheal endoluminal resection of a pleomorphic adenoma occluding subglottis	Ishikawa S, Kimura M, Inadome Y, Mitsui K.	呼 吸 器 (外)
Med Oncol (In press), 2008	A Population-based study of Gefitinib in the patients with non-small cell lung cancer.	Hayashibara, K, Sato, H, Shinohara, Y, 他	呼 吸 器 (外)
Lung Cancer (In Press), 2008	Lung Cancer in Patients Aged 80 years and over.	SatoH, Kurishima K, Nakamura R, 他	呼 吸 器 (外)
Endocr J 54(5):829, 12月, 2007	Bilateral adrenal metastasis from lung adenocarcinoma	Ano S, Sato H, Ishikawa S, 他	呼 吸 器 (外)
Clin Exp Pharmacol Physiol. 35(9):1012-7, 2008	Effects of atorvastatin and pravastatin on glucose tolerance, adipokine levels and inflammatory markers in hypercholesterolaemic patients.	Ando H, Sugimoto KI, Yanagihara H, Tsuruoka S, Saito T, Takamura T, Kaneko S, Fujimura A.	腎 泌 尿 器 (内)
Chronobiol int. 25(5):808-18, 2008.	Dosing time-dependent effect of raloxifene on plasma fibrinogen concentration in ovariectomized rats.	Tsuruoka S, Hasegawa G, Maeda A, Kaneda T, Fujimura A.	腎 泌 尿 器 (内)
Eur J Pharmacol. 31:596(1-3):166-72, 2008	Evaluation of the interaction between nonsteroidal anti-inflammatory drugs and methotrexate using human organic anion transporter 3-transfected cells.	Maeda A, Tsuruoka S, Kanai Y, Endou H, Saito K, Miyamoto E, Fujimura A.	腎 泌 尿 器 (内)
Xenobiotica. 38(11):1355-64, 2008	Human CYP3A4-introduced HepG2 cells: in vitro screening system of new chemicals for the evaluation of CYP3A4-inhibiting activity.	Araki N, Tsuruoka S, Wang N, Hasegawa G, Yanagihara H, Ando H, Omasa T, Enosawa E, Nagai H, Fujimura A.	腎 泌 尿 器 (内)
Nephron Physiol. 110(2):p11-20, 2008	Mechanism of Cd-induced inhibition of Na-glucose cotransporter in rabbit proximal tubule cells: Roles of luminal pH and membrane-bound carbonic anhydrase.	Tsuruoka S, Swenson ER, Fujimura A, Imai M.	腎 泌 尿 器 (内)

小計 10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Nephrol Vol. 13, 174-178, 2009	Secondary membranous glomerulonephritis associated with recipient residual lymphoma cells after allogeneic bone marrow transplantation.	Sakai K, Usui J, Kai H, Hagiwara M, Morito N, Saito C, Yoh K, Tsuruoka S, Hirayama K, Aita K, Nagata M, Yamagata K.	腎泌尿器 (内)
Ther Apher Dial 12(4): 285-291; 2008	Vascular endothelial growth factor and soluble fms-like tyrosine kinase-1 in septic shock patients treated with direct hemoperfusion with a polymyxin B-immobilized fiber column.	Ebihara I, Hirayama K, Kaneko S, Nagai M, Ogawa Y, Fujita S, Usui J, Mase K, Yamagata K, Kobayashi K.	腎泌尿器 (内)
NDT Plus 3: 187; 2008	Intramembranous electron-dense deposits in a nephritic patient with mixed connective tissue disease: unusual response to corticosteroid therapy.	Ebihara I, Usui J, Hirayama K, Kobayashi M, Yamagata K.	腎泌尿器 (内)
Blood 111(11): 5298-5306; 2008	Generation of functional platelets from human embryonic stem cells in vitro via ES-sacs, VEGF-promoted structures that concentrate hematopoietic progenitors.	Takayama N, Nishikii H, Usui J, Sawaguchi A, Hiroyama T, Eto K, Nakauchi H.	腎泌尿器 (内)
Clin Exp Nephrol 12(4): 277-291; 2008	Renal pathology of ANCA-related vasculitis: proposal for standardization of pathological diagnosis in Japan.	Joh K, Muso E, Shigematsu H, Nose M, Nagata M, Arimura Y, Yumura W, Wada T, Nitta K, Makino H, Taguma Y, Kaneoka H, Suzuki Y, Kobayashi M, Koyama K, Usui J, Hashimoto H, Ozaki S, Tomino Y, Yamagata K	腎泌尿器 (内)

小計 5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Genes to Cells, Vol. 13, 1159-1170, 2008	Hyperglycemia induces oxidative and nitrosative stress and increases renal functional impairment in Nrf2-deficient mice.	K. Yoh, A. Hirayama, K. Ishizaki, A. Yamada, M. Takeuchi, S. Yamagishi, N. Morito, T. Nakano, M. Ojima, H. Shimohata, K. Itoh, S. Takahashi, M. Yamamoto	腎泌尿器 (内)
Journal of European Academy of Dermatology and Venereology, Vol. 22, 241-242, 2008	Rheumatoid apules successfully treated with oral tacrolimus.	Y. Kawachi, Y. Nakamura, K. Yoh, T. Suzuki, Y. Fujisawa, J. Furuta, T. Takahashi, F. Otsuka	腎泌尿器 (内)
J Nephrol. 2009 Jan-Feb;22(1):123-129	Overexpression of T-bet in T cells accelerates autoimmune glomerulonephritis in mice with a dominant Th1 background.	Shimohata H, Yamada A, Yoh K, Ishizaki K, Morito N, Yamagata K, Takahashi S.	腎泌尿器 (内)
J Immunol. 2008 181(4):2846-2854.	Dissection of genetic mechanisms governing the expression of serum retroviral gp70 implicated in murine lupus nephritis. J Immunol. 2008 181(4):2846-2854.	Baudino L, Yoshinobu K, Morito N, Kikuchi S, Fossati-Jimack L, Morley BJ, Vyse TJ, Hirose S, Jørgensen TN, Tucker RM, Roark CL, Kotzin BL, Evans LH, Izui S.	腎泌尿器 (内)
Therapeutic Research 29(11): 1859-1861; 2008	新規の ApoE 遺伝子変異 (ApoE Tsukuba) を有する Lipoprotein Glomerulopathy の 1 例.	萩原正大, 藤田亜紀子, 田中宏明, 荒川洋, 臼井丈一, 森戸直記, 斎藤知栄, 楊景堯, 相田久美, 長田道夫, 齊藤喬雄, 山縣邦弘	腎泌尿器 (内)

小計 5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
リウマチ科 2008;40:53-57	難治性 Wegener におけるリツキシマブの効果.	山縣邦弘, 白井丈一	腎泌尿器 (内)
腎と透析、第 60 巻増刊号、509-512、2008	単純血漿交換・二重膜濾過血漿交換・血漿吸着の主な適応 腎疾患 RPGN	楊 景堯、山縣邦弘	腎泌尿器 (内)
腎と透析 65:549-552, 2008	インドキシル硫酸	鶴岡 秀一	腎泌尿器 (内)
Tumor Res 43, 25-30, 2008	Relationship between serum isoflavone concentrations and frequency of soybean products consumption in patients with prostate cancer	Mitsuru Mori, <u>Naoto Miyanaga</u> , <u>Hideyuki Akaza</u> , et al.	腎泌尿器 (外)
J Cancer Res Clin 134(12), 1385-1396, 2008	Evaluation of quality of life in patients with previously untreated advanced prostate cancer receiving maximum androgen blockade therapy or LHRHa monotherapy: a multicenter, randomized, double-blind, comparative study	Arai Y, <u>Akaza H</u> , et al.	腎泌尿器 (外)
Eur Urol Supl 7(10), 618-626, 2008	Staging, Grading, and Risk Stratification of Bladder Cancer	Marc Colombel, <u>Hideyuki Akaza</u> , et al	腎泌尿器 (外)
Eur Urol Supl 7(10), 627-636, 2008	Diagnosis of Non-Muscle Invasive Bladder Cancer	, Joan Palou, <u>Hideyuki Akaza</u> , et al.	腎泌尿器 (外)
Eur Urol Supl 7(10), 637-650, 2008	Current Approaches to the Management of Non-Muscle Invasive Bladder Cancer: Comparison of Current Guidelines and Recommendations	Raj Persad, <u>Hideyuki Akaza</u> , et al.	腎泌尿器 (外)
Eur Urol Supl 7(10), 651-666, 2008	Clinical Practice Recommendations for the Management of Non-Muscle Invasive Bladder Cancer	Donald Lamm, <u>Hideyuki Akaza</u> , et al	腎泌尿器 (外)
Eur Urol Supl 7(10), 667-674, 2008	, Clinical Practice Recommendations for the Prevention and Management of Intravesical Therapy-Associated Adverse Events	J. Alfred Witjes, <u>Hideyuki Akaza</u> , et al	腎泌尿器 (外)

小計 10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Urol 15(9), 794-799, 2008	, Prospective study of combined treatment with interferon-alpha and active vitamin D3 for Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma	Wataru Obara, <u>Hideyuki Akaza</u> , et al behalf of the Japanese Innovative Immunotherapy Society for Renal Cell Carcinoma	腎泌尿器 (外)
Prostate Cancer Prostatic Dis 11(3), 252-257, 2008	Age-stratified serum levels of isoflavones and proportion of equol producers in Japanese and Korean healthy men	Fujimoto K, <u>Miyanaga N, Akaza H</u> , et al.	腎泌尿器 (外)
Lancet 372, 449-456, 2008	Efficacy of everolimus in advanced renal cell carcinoma: a double-blind, randomised, placebo-controlled phase III trial	Robert J Motzer, Akaza H, et al	腎泌尿器 (外)
Curr Urol Rep 9(4), 257-258, 2008	Bladder-preserving therapy for muscle-invasive bladder cancer: should it be recommended to appropriate patients?	<u>Akaza H</u>	腎泌尿器 (外)
J Sex Med 5(6), 1443-1450, 2008	Negative Impact of Metabolic Syndrome on the Responsiveness to Sildenafil in Japanese Men	Suetomi T, <u>Kawai K</u> , <u>Hinotsu S, Joraku A</u> , <u>Oikawa T, Sekido N</u> , <u>Miyanaga N</u> , <u>Shimazui T, Akaza H</u> .	腎泌尿器 (外)
Int J Clin Oncol 13(2), 166-168, 2008	Cavernous hemangioma mimicking a cystic renal cell carcinoma.	Takaoka E, <u>Sekido N</u> , <u>Kawai K</u> , <u>Shimazui T, Akaza H</u> et al.	腎泌尿器 (外)
Int J Urol 15(5), 389-393, 2008	Report from the second Japanese Urological Association-Japanese Society of Medical Oncology joint conference, 2007: 'diagnosis and treatment of urological malignant tumors: how can we promote subspecialists?'	Saijo N, <u>Akaza H</u> , et al.	腎泌尿器 (外)

小計 7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Urol 15(5), 377-388, 2008	Clinical practice manual for late-onset hypogonadism syndrome	Namiki M, <u>Akaza H</u> , <u>Shimazui T</u> , et al; Working Committee on Clinical Practice Guidelines for Late-onset Hypogonadism; Japanese Urological Association/Japanese Society for Study of Aging Male,	腎泌尿器 (外)
Jpn J Clin Oncol 38(4), 281-287, 2008	Docetaxel Plus Prednisolone for the Treatment of Metastatic Hormone-refractory Prostate Cancer: A Multicenter Phase II Trial in Japan	S. Naito, <u>H. Akaza</u> et al.	腎泌尿器 (外)
Best Pract Res Clin Endocrinol Metab 22(2), 293-302, 2008	Current status and prospects of androgen depletion therapy for prostate cancer	<u>Akaza H</u>	腎泌尿器 (外)
Jpn J Clin Oncol 38(4), 281-287, 2008	Survival of metastatic germ cell cancer patients assessed by international germ cell consensus classification in Japan	Shintaku I, <u>Kawai K</u> , <u>Akaza H</u> , et al.	腎泌尿器 (外)
BJU Int 101(5), 561-565, 2008	Urinary cytology and nuclear matrix protein 22 in the detection of bladder cancer recurrence other than transitional cell carcinoma	Hutterer GC, S, <u>Akaza H</u> , <u>Miyanaga N</u> , et al.	腎泌尿器 (外)
Int J Urol 15(1), 1-18, 2008	Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Prostate Cancer (Summary - JUA 2006 Edition)	Kamidono S, <u>Akaza H</u> , et al; Working Group for Creation of Clinical Practice Guidelines for Prostate Cancer, The Japanese Urological Association.	腎泌尿器 (外)

小計 6件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本がん検診・診断学会誌 15(2), 153-157, 2008	茨城県前立腺がん2次検診の現状と動向－検診担当医へのアンケート調査より－	服部一紀, 樋之津史郎, 赤座英之	腎泌尿器 (外)
Circulation Journal 72(2): 218-225, 2008	Importance of lipid levels in elderly diabetic individuals – Baseline characteristics and 1-year survey of cardiovascular events.	Hayashi T, Kawashima S, Itoh H, Yamada N, Sone H, Watanabe H, Hattori Y, Ohrui T, Yoshizumi M, Yokote K, Kubota K, Nomura H, Umegaki H, Iguchi A, on behalf of Japan CDM group.	内分泌代謝・糖尿病内科
Biochem Biophys Res Commun. 368: 261-266, 2008 Apr	Mouse Elovl-6 promoter is an SREBP target.	Kumadaki S, Matsuzaka T, Kato T, Yahagi N, Yamamoto T, Okada S, Kobayashi K, Takahashi A, Yatoh S, Suzuki H, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科
Ann Nucl Med 22(1):13-21, 2008 Jan	Surveillance study for creating the national clinical database relating to ECG-gated myocardial perfusion SPECT of asymptomatic ischemic heart disease in patients with type-2 diabetes mellitus: J-ACCESS2 study design.	Kusuoka H, Yamasaki Y, Izumi T, Kashiwagi A, Kawamori R, Shimamoto K, Yamada N, Nishimura T.	内分泌代謝・糖尿病内科
J Biol Chem. 283(30): 21220-21229, 2008 July 25. (J Biol Chem. 2008 Apr 29	Cyclin-dependent kinase inhibitor, p21WAF1/CIP1, is involved in adipocyte differentiation and hypertrophy, linking to obesity and insulin resistance.	Inoue N, Yahagi N, Yamamoto T, Ishikawa M, Watanabe K, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Takeuchi Y, Kobayashi K, Takahashi A, Suzuki H, Hasty AH, Toyoshima H, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科
Diabetes. 57: 2382-2392, 2008	Palmitate impairs and eicosapentaenoate restores insulin secretion through regulation of SREBP-1c in pancreatic islets.	Kato T, Shimano H, Yamamoto T, Ishikawa M, Kumadaki S, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Yahagi N, Nakakuki M, Hasty AH, Takeuchi Y, Kobayashi K, Takahashi A, Yatoh S, Suzuki H, Sone H, Yamada N	内分泌代謝・糖尿病内科

小計 6 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Atheroscler Thromb 15(3): 116-121, 2008	Proposed guidelines for hypertriglyceridemia in Japan with Non-HDL cholesterol as the second target.	Shimano H, Arai H, Harada-Shiba M, Ueshima H, Ohta T, Yamashita S, Gotoda T, Kiyohara Y, Hayashi T, Kobayashi J, Shimamoto K, Bujo H, Ishibashi S, Shirai K, Oikawa S, Saito Y, Yamada N.	内分泌代謝病内科
Diabetic Medicine 25: 818-825, 2008	Stratified analyses for selecting appropriate target patients with diabetic peripheral neuropathy for long-term treatment with an aldose reductase inhibitor.	Hotta N, Kawamori R, Atsumi Y, Baba M, Kishikawa H, Nakamura J, Oikawa S, Yamada N, Yasuda H, Shigeta Y, The ADCT Study Group.	内分泌代謝病内科
Journal of Lipid Research 49: 1829-1838, 2008	Hormone-sensitive lipase is involved in hepatic cholesteryl ester hydrolysis.	Motohiro Sekiya, Jun-ichi Osuga, Naoya Yahagi, Hiroaki Okazaki, Yoshiaki Tamura, Masaki Igarashi, Satoru Takase, Kenji Harada, Sachiko Okazaki, Yoko Iizuka, Ken Ohashi, Hiroaki Yagyu, Mitsuyo Okazaki, Takanari Gotoda, Ryoza Nagai, Takashi Kadowaki, Hitoshi Shimano, Nobuhiro Yamada, Shun Ishibashi.	内分泌代謝病内科
Journal of Lipid Research 49: 2524-2534, 2008	Cholesterol accumulation and diabetes in pancreatic beta-cell-specific SREBP-2 transgenic mice: a new model for lipotoxicity.	Ishikawa M, Iwasaki Y, Yatoh S, Kato T, Kumadaki S, Inoue N, Yamamoto, T, Matsuzaka T, Nakagwa Y, Yahagi N, Kobayashi K, Takahashi A, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝病内科
JMAJ 51(5): 322-326, 2008	Metabolic syndrome: future prospects,	Yamada N.	内分泌代謝病内科
Endocr J. 2008 May;55(2):299-303.	R46Q mutation in the succinate dehydrogenase B gene (SDHB) in a Japanese family with both abdominal and thoracic paraganglioma following metastasis.	Takekoshi K, Isobe K, Suzuki H, Nissato S, Kawakami Y, Kawai K, Yamada N.	内分泌代謝病内科

小計 6件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun. 378: 545-550, 2009	Nuclear SREBP-1a causes loss of pancreatic β -cells and impaired insulin secretion.	Iwasaki Y, Iwasaki H, Yatoh S, Ishikawa M, Kato T, Matsuzaka T, Nakagwa Y, Yahagi N, Kobayashi K, Takahashi A, Suzuki H, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科
Obesity 17(3): 585-592, 2009	Waist circumference as a cardiovascular and metabolic risk in Japanese patients with type 2 diabetes.	Sone H, Tanaka S, Iimuro S, Oida K, Yamasaki Y, Ishibashi S, Oikawa S, Katayama S, Ito H, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科
日本内視鏡外科学会雑誌、2008年13巻、289-294	甲状腺乳頭癌に対する内視鏡補助下甲状腺切除+頸部リンパ節D2郭清	原 尚人	乳腺甲状腺内分泌外科
Ann. Rheum. Dis. 67(1):136-137, 2008.	High prevalence of autoantibodies to muscarinic-3 acetylcholine receptor in patients with juvenile-onset Sjogren's syndrome.	Nakamura Y, Wakamatsu E, Matsumoto I, Tomiita M, Kohno Y, Mori M, Yokota S, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Ann. Rheum. Dis. 67(4):571-572, 2008.	Visfatin(pre-B cell colony-enhancing factor) gene expression in patients with rheumatoid arthritis.	Matsui H, Tsutsumi A, Sugihara M, Suzuki T, Iwanami K, Kohno M, Goto D, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Arthritis Rheum. 58(3):754-763, 2008.	Crucial role of IL-6/IL-17 cytokine axis in the induction of arthritis by glucose-6-phosphate-isomerase.	Iwanami K, Matsumoto I, Watanabe Y, Mihara M, Ohsugi Y, Mamura M, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Kishimoto T, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Int. J. Mol. Med. 22:369-374, 2008.	Invariant NKT cells produce IL-17 through IL-23-dependent and -independent pathways with potential modulation of Th17 response in collagen-induced arthritis.	Yoshiga Y, Goto D, Segawa S, Ohnishi Y, Matsumoto I, Ito S, Tsutsumi A, Taniguchi M, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科

小計 7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arthritis Res Ther 10:R113, 2008.	Role of STAT4 polymorphisms in systemic lupus erythematosus in a Japanese population: a case-control association study of STAT1-STAT4 region.	Kawasaki A, Ito I, Hikami K, Ohashi J, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Ito S, Tsutsumi A, Koga M, Arinami T, Robert R Graham, Geoffrey Hom, Takasaki Y, Hashimoto H, Timothy W Behrens, Sumida T, Tsuchiya N.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Ann. Rheum. Dis. 68:710-714, 2009.	Muscarinic-3 acetylcholine receptor autoantibody in patients with systemic sclerosis: contribution to severe gastrointestinal tract dysmotility.	Kawaguchi Y, Nakamura Y, Matsumoto I, Nishimagi E, Kamatani N, Satoh T, Kuwana M, Sumida T, Hara M.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Arthritis Rheum. 60(2):553-558, 2009.	Replication of the Association between C8orf13-BLK Region and Systemic Lupus Erythematosus in a Japanese Population.	Ito I, Kawasaki A, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Geoffrey Hom, Robert R. Graham, Takasaki Y, Hashimoto H, Ohashi J, Timothy W. Behrens, Sumida T, Tsuchiya N.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Clin. Exp. Immunol. 155:285-294, 2009.	B cell play crucial role as antigen presenting cells and collaborating with inflammatory cytokines in glucose-6-phosphate isomerase-induced arthritis.	Tanaka-Watanabe Y, Matsumoto I, Iwanami K, Inoue A, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Arthritis Res Ther (in press)	Therapeutic effects of antibodies to TNF alpha and IL-6 and CTLA-4 Ig in mice with glucose-6-phosphate isomerase-induced arthritis.	Matusmoto I, Zhang H, Yasukochi T, Iwanami K, Tanaka Y, Inoue A, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Arthritis Res Ther (in press)	Arthritogenic T cell epitope in glucose-6-phosphate isomerase (GPI)-induced arthritis.	Iwanami K, Matsumoto I, Tanaka Y, Inoue A, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科

小計 6 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
<i>International Journal of Hematology</i> 87(3):310-318, Apr, 2008.	Clinical features of late cytomegalovirus infection after hematopoietic stem cell transplantation.	Asano-Mori Y, Kanda Y, Oshima K, Kako S, Shinohara A, Nakasone H, Sato H, Watanabe T, Hosoya N, Izutsu K, Asai T, Hangaishi A, Motokura T, <u>Chiba S</u> , Kurokawa M.	血液内科
<i>American Journal of Hematology</i> 83(8):635-639, Apr, 2008	A myeloablative conditioning regimen for patients with impaired cardiac function undergoing allogeneic stem cell transplantation: Reduced cyclophosphamide combined with etoposide and total body irradiation.	Yoshimi A, Nannya <u>Y</u> , <u>Sakata-Yanagimoto</u> M, Oshima K, Takahashi T, Kanda Y, Motokura T, <u>Chiba S</u> , Kurokawa M. A	血液内科
<i>Blood</i> 15; 111(8):4375-4385. Apr, 2008	Ablation of GATA1 in adult mice results in aplastic crisis, revealing its essential role in steady-state and stress erythropoiesis.	Gutierrz L, Tsukamoto S, Suzuki M, <u>Mukai HY</u> , Yamamoto Y, Philipsen S, Ohneda K.	血液内科
<i>Journal of Immunology</i> 180(7):4402-4408, Apr 1, 2008	AML1/Runx1 Negatively Regulates Quiescent Hematopoietic Stem Cells in Adult Hematopoiesis.	Ichikawa M, Goyama S, Asai T, Kawazu M, Nakagawa M, Takeshita M, <u>Chiba S</u> , Ogawa S, Kurokawa M.	血液内科
<i>International Immunology</i> 20(6):763-773, Apr 1, 2008	Delta-like 1 is essential for the maintenance of marginal zone B cells in normal mice but not in autoimmune mice.	Moriyama Y, Sekine C, Koyanagi A, Koyama N, Ogata H, <u>Chiba S</u> , Hirose S, Okumura K, Yagita H.	血液内科

小計 5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
<i>Gene and Development</i> 22(8):986-991, Apr 15, 2008	Fbxw7 acts as a critical fail-safe against premature loss of hematopoietic stem cells and development of T-ALL.	Matsuoka S, Oike Y, Onoyama I, Iwama A, Arai F, Takubo K, Mashimo Y, Oguro H, Nitta E, Ito K, Miyamoto K, Yoshiwara H, Hosokawa K, Nakamura Y, Gomei Y, Iwasaki H, Hayashi Y, Matsuzaki Y, Nakayama K, Ikeda Y, Hata A, <u>Chiba S</u> , Nakayama KI, Suda T.	血液内科
<i>Proceedings of the National Academy of Sciences, USA</i> 105(19):7010-7015, May, 2008	Dendritic cell-mediated NK cell activation is controlled by Jagged2-Notch interaction.	Kijima M, Yamaguchi T, Ishifune C, Maekawa Y, Koyanagi A, Yagita H, <u>Chiba S</u> , Kishihara K, Shimada M, Yasutomo K.	血液内科
<i>Blood</i> 15:111(10):5223-5232 , May, 2008	Repression via the GATA box is essential for tissue-specific erythropoietin gene expression.	<u>Obara N</u> , Suzuki N, Kim K, <u>Nagasawa T</u> , Imagawa S, Yamamoto M.	血液内科
<i>European Journal of Haematology</i> 80(5):444-447, May, 2008	Detection of the STAT5B-RARA fusion transcript in acute promyelocytic leukemia with the normal chromosome 17 on G-banding.	<u>Kusakabe M</u> , <u>Suzukawa K</u> , Nanmoku T, <u>Obara N</u> , <u>Okoshi Y</u> , <u>Mukai HY</u> , <u>Hasegawa Y</u> , <u>Kojima H</u> , Kawakami Y, <u>Ninomiya H</u> , <u>Nagasawa T</u> .	血液内科

小計 4 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
<i>American Journal of Hematology</i> 83(3):472-476, Jun, 2008.	Long-term ultra-low-dose acyclovir against varicella-zoster virus reactivation after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Asano-Mori Y, Kanda Y, Oshima K, Kako S, Shinohara A, Nakasone H, Sato H, Watanabe T, Hosoya N, Izutsu K, Asai T, Hangaishi A, Motokura T, <u>Chiba S</u> , Kurokawa M.	血液内科
<i>American Journal of Hematology</i> 83(6):477-481, Jun, 2008	Conventional allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for lymphoma may overcome the poor prognosis associated with a positive FDG-PET scan before transplantation.	Yoshimi A, Izutsu K, Takahashi M, Kako S, Oshima K, Kanda Y, Motokura T, <u>Chiba S</u> , Momose T, Ohtomo K, Kurokawa M.	血液内科
<i>Proceedings of the National Academy Sciences, USA</i> 105(22):7839-7844, Jun, 2008.	Coordinated regulation of transcription factors through Notch2 is an important mediator of mast cell fate.	<u>Sakata-Yanagimoto M</u> , Nakagami-Yamaguchi E, Saito T, Kumano K, Yasutomo K, Ogawa S, Kurokawa M, <u>Chiba S</u> .	血液内科
<i>Leukemia</i> 22(6):1241-1249, Jun, 2008	AML1-Evi-1 specifically transforms hematopoietic stem cells through fusion of the entire Evi-1 sequence to AML1.	Takehita M, Ichikawa M, Nitta E, Goyama S, Asai T, Ogawa S, <u>Chiba S</u> , Kurokawa M.	血液内科
<i>Blood</i> 111(11):5298-306, Jun, 2008	Generation of functional platelets from human embryonic stem cells in vitro via ES-sacs, VEGF-promoted structures that concentrate hematopoietic progenitors.	Takayama N, <u>Nisikii H</u> , Usui J, Tsukui H, Sawaguti A, Hiroyama T, Eto K, Nakauchi H.	血液内科
<i>Biology and Pharmacology Bulletin</i> 31(6):1250-3, Jun, 2008	Use of sample hematocrit value to correct blood tacrolimus concentration derived by microparticle enzyme immunoassay.	Tomita T, Homma M, <u>Hasegawa Y</u> , <u>Kojima H</u> , Ohkohchi N, Hori T, Kaneko M, Nakano Y, Tobe T, Kohda Y.	血液内科

小計 6 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
<i>Cell Stem Cell</i> 3(2):207-220, Aug, 2008.	Evi-1 is a critical regulator for hematopoietic stem cells and transformed leukemic cells.	Goyama S, Yamamoto G, Sato T, Ichikawa M, Ogawa S, <u>Chiba S</u> , Kurokawa M.	血液内科
<i>Journal of Experimental Medicine</i> 205(8):1917-27, Aug, 2008	Metalloproteinase regulation improves in vitro generation of efficacious platelets from mouse embryonic stem cells.	<u>Nishikii H</u> , Eto K, Heissig B, Kanaji T, Sawaguti A, Goto S, Ware J, Nakauchi H.	血液内科
<i>Journal of Medical Virology</i> 80(10):1769-1775, Oct, 2008	Case report: persistent cytomegalovirus (CMV) infection after haploidentical hematopoietic stem cell transplantation using in vivo alemtuzumab: emergence of resistant CMV due to mutations in the UL97 and UL54 genes.	Oshima K, Kanda Y, Kako S, Asano-Mori Y, Watanabe T, Motokura T, <u>Chiba S</u> , Shiraki K, Kurokawa M.	血液内科
<i>Nature Immunology</i> 9(10):1140-1147, Oct, 2008	Notch 2 integrates signaling by the transcription factors RBP-J and CREB1 to promote T cell cytotoxicity.	Maekawa Y, Minato Y, Ishifune C, Kurihara T, Kitamura A, Kojima H, Yagita H, <u>Sakata-Yanagimoto S</u> , Saito T, Taniuchi I, <u>Chiba S</u> , Yasutomo K,	血液内科
<i>American Journal of Hematology</i> 83(11):835-839, Nov, 2008	Multicenter prospective trial evaluating the tolerability of imatinib for Japanese patients with chronic myelogenous leukemia in the chronic phase: Does body weight matter?	Kanda Y, Okamoto S, Tauchi T, Kizaki M, Inokuchi K, Yabe M, Yokoyama K, Ito Y, Kimura Y, Higashihara M, Bessho M, Ando K, <u>Chiba S</u> , Kurokawa M, Oshimi K, Dan K, Ohyashiki K, Ikeda Y; for the Tokyo STI Study Group (TSSG).	血液内科

小計 5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
<i>Bone Marrow Transplantation</i> 42(10):697-699, Nov, 2008	Ovarian shielding allows ovarian recovery and normal birth in female hematopoietic SCT recipients undergoing TBI. Bone Marrow Transplant	Nakagawa K, Kanda Y, Yamashita H, Nakagawa S, Sasano N, Ohtomo K, Oshima K, Kumano K, Ban N, Minamitani Y, Kurokawa M, <u>Chiba S.</u>	血液内科
<i>Journal of Allergy and Clinical Immunology</i> 123(1):74-81, Jan, 2009	Notch signaling confers antigen-presenting cell functions on mast cells.	Nakanō N, Nishiyama C, Yagita H, Koyanagi A, Akiba H, <u>Chiba S.</u> Ogawa H, Okumura K..	血液内科
<i>Biology of Blood and Marrow Transplantation</i> 15(1 Suppl):39-41, Jan, 2009	Japan Marrow Donation Program (JMDP). Exploration of the genetic basis of GVHD by genetic association studies.	Ogawa S, Matsubara A, Onizuka M, Kashiwase K, Sanada M, Kato M, Nannya Y, Akatsuka Y, Satake M, Takita J, <u>Chiba S.</u> Saji H, Maruya E, Inoko H, Morishima Y, Kodera Y, Sasazuki T.	血液内科
<i>Journal of Immunology</i> 182(6):3566-3572, Mar, 2009	Jagged1 suppresses collagen-induced arthritis by indirectly providing a negative signal in CD8+ T cells.	Kijima M, Iwata A, Maekawa Y, Uehara H, Izumi K, Kitamura A, Yagita H, <u>Chiba S.</u> Shiota H, Yasutomo K.	血液内科
<i>J Eur Acad Dermatol</i> 22: 241-242, 2008	Rheumatoid papules successfully treated with oral tacrolimus.	Kawachi Y, Nakamura Y, Yoh K, Suzuki T, Furuta J, Fujisawa Y, Takahashi T, Otsuka F	皮膚

小計 5 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Invest Dermatol 128: 1773-1779, 2008	Attenuation of UVB-Induced Sunburn Reaction and Oxidative DNA Damage with No Alterations in UVB-induced Skin Carcinogenesis in <i>Nrf2</i> Gene-Deficient Mice	Kawachi Y, Xu X, Taguchi S, Sakurai H, Fujisawa Y, Nakamura Y, Ishii Y, Furuta J, Takahashi T, Itoh K, Yamamoto M, Yamazaki F, Otsuka F	皮膚
Eur J Dermatol 18:195-196, 2008	Paraneoplastic dermatomyositis triggered and exacerbated by oral 5-fluorouracil administration	Kawachi Y, Koike Y, Kano T, Furuta J, Fujisawa Y, Nakamura Y, Ishii Y, Takahashi T, Otsuka F	皮膚
J Eur Acad Dermatol 22: 1372-1373, 2008	A case of proximal-type epithelioid sarcoma which showed positive reactivity to fibroblast growth factor receptor2-IIIb isotype	Fujisawa Y, Takahashi T, Enomoto H, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F	皮膚
J Eur Acad Dermatol 23: 181-183, 2008	Epidermal pseudocarcinomatous hyperplasia with underlying epidermal growth factor-producing cutaneous CD30-positive lymphoproliferative disorder	Kawachi Y, Taguchi S, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Takahashi T, Otsuka F	皮膚
Dermatol Surg 34:823-830, 2008	Penile preservation surgery in a case of extramammary Paget's disease involving the glans penis and distal urethra	Fujisawa Y, Nakamura Y, Takahashi T, Kawachi Y, Otsuka F	皮膚
J Plast Reconstr Aesthet Surg in press	Combined therapy of selective embolization followed by surgery in a case of giant arteriovenous malformation in the buttock	Fujisawa Y, Ito S, Mori K, Kawachi Y, Otsuka F	皮膚
Eur J Dermatol 18:579-582, 2008	Severe local skin reactions to interferon beta-1b in multiple sclerosis - improvement by deep subcutaneous injection	Nakamura Y, Kawachi Y, Furuta J, Otsuka F	皮膚

小計 7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Allergy.	Expression profiling of genes related to asthma exacerbations.	Aoki T, Matsumoto Y, Hirata K, Ochiai K, Okada M, Ichikawa K, Shibasaki M, Arinami T, Sumazaki R, Noguchi E.	小児(内)
Eur J Pediatr.	Transient myelofibrosis with autoimmune pancytopenia: a case report.	Nakao T, Fukushima T, Shimizu T, Nanmoku T, Fujiyama S, Nakajima R, Fukushima F, Noguchi M, Sumazaki R.	小児(内)
Pediatr Cardiol	Apical hypertrophic cardiomyopathy in childhood: a long-term follow-up report of two cases.	Miyamoto T, Horigome H, Kawano S, Sumazaki R.	小児(内)
Digestion	Efficacy and safety of azathioprine and 6-mercaptopurine in Japanese pediatric patients with ulcerative colitis: a survey of the Japanese Society for Pediatric Inflammatory Bowel Disease.	Tajiri H, Tomomasa T, Yoden A, Konno M, Sasaki M, Maisawa S, Sumazaki R, Shimizu T, Toyoda S, Etani Y, Nakacho M, Ushijima K, Kobayashi A; Japanese Society for Pediatric Inflammatory Bowel Disease.	小児(内)
Pediatr Hematol Oncol.	Fatal sibling cases of familial hemophagocytic lymphohistiocytosis (FHL) with MUNC13-4 mutations: case reports.	Nakao T, Shimizu T, Fukushima T, Saito M, Okamoto M, Sugiura M, Yamamoto K, Ueda I, Imashuku S, Kobayashi C, Koike K, Tsuchida M, Sumazaki R, Matsui A.	小児(内)
成長科学協会年報	特発性低身長症における IGFBP-1 遺伝子多型に関する研究	嶋田 知博	小児(内)

小計 6 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児循環器学会雑誌	空洞を伴う肺非結核性抗酸菌症を合併した成人チアノーゼ性先天性心疾患の1例	加藤愛章, 堀米仁志, 高橋実穂, 他	小児(内)
Congenital heart disease	Coronary artery dilatation in LEOPARD syndrome. A child case and literature review.	Iwasaki Y, Horigome H, Takahashi-Igari M, Kato Y, Razzaque MA, Matsuoka R	小児(内)
Pediatric radiology	Type I biliary atresia without extrahepatic biliary cyst.	<u>Komuro H</u> , <u>Kudo T</u> , <u>Jinbo T</u> , <u>Hori T</u> , <u>Tatekawa Y</u> , <u>Kudou S</u> , <u>Urita Y</u> , <u>Kaneko M</u> .	小児(内)
British journal of haematology	<u>Clinical impact of HLA-DR15, a minor population of paroxysmal nocturnal haemoglobinuria-type cells, and an aplastic anaemia-associated autoantibody in children with acquired aplastic anaemia.</u>	<u>Yoshida N</u> , <u>Yagasaki H</u> , <u>Takahashi Y</u> , <u>Yamamoto T</u> , <u>Liang J</u> , <u>Wang Y</u> , <u>Tanaka M</u> , <u>Hama A</u> , <u>Nishio N</u> , <u>Kobayashi R</u> , <u>Hotta N</u> , <u>Asami K</u> , <u>Kikuta A</u> , <u>Fukushima T</u> , <u>Hirano N</u> , <u>Kojima S</u> .	小児(内)
Haematologica	Significance of the complete clearance of peripheral blasts after 7 days of prednisolone treatment in children with acute lymphoblastic leukemia: the Tokyo Children's Cancer Study Group Study L99-15.	<u>Manabe A</u> , <u>Ohara A</u> , <u>Hasegawa D</u> , <u>Koh K</u> , <u>Saito T</u> , <u>Kiyokawa N</u> , <u>Kikuchi A</u> , <u>Takahashi H</u> , <u>Ikuta K</u> , <u>Hayashi Y</u> , <u>Hanada R</u> , <u>Tsuchida M</u> ; <u>Tokyo Children's Cancer Study Group</u> .	小児(内)
Rev Sci Instrum.	Unshielded fetal magnetocardiography system using two-dimensional gradiometers.	Seki Y, Kandori A, Kumagai Y, Ohnuma M, Ishiyama A, Ishii T, Nakamura Y, Horigome H, Chiba T.	小児(内)
J Cardiovasc Electrophysiol.	Magnetocardiographic demonstration of torsade de pointes in a fetus with congenital long QT syndrome.	Horigome H, Iwashita H, Yoshinaga M, Shimizu W.	小児(内)

小計 7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Med: Cardiology	Assessment of fetal autonomic nervous system activity by fetal magnetocardiography.	Fukushima A, Nakai K, Itoh M, Horigome H, Suwabe A, Tohyama K, Kobayashi K, Yoshizawa M, Sugiyama T.	小児(内)
Pediatr Surg Int. 24(4):431-5. 2008	A New Technique for treatment of tracheal compression by the innominate artery: external reinforcement with autologous cartilage graft and muscle flap suspension.	Tatekawa Y, Hori T, Komuro H, Urita Y, Kodo S, Kaneko M, et al.	小児外科
Pediatr Surg Int. 24:1041-1045, 2008	Evaluation of diaphragmatic hernia repair using PLGA mesh-collagen sponge hybrid scaffold: An experimental study in a rat model.	Urita Y, Komuro H, Kaneko M, et al.	小児外科
J Pediatr Surg. Sep;43(9):e27-9. 2008	Omental pseudocyst formation associated with perforated gastric duplication:a case report.	Tatekawa Y, Hoshino N, Urita Y, Kudou S, Komuro H, Hori T, Kaneko M.	小児外科
J Pediatr Surg. Jul;43(7):1376-9. 2008	A rare case of presacral cystic neuroblastoma in an infant.	Watanabe M, Komuro H, Kaneko M, Hori T, Tatekawa Y, Kudo S, Urita Y, et al.	小児外科
Cancer Science 99:1209-1217. 2008	Vascular Endothelial Growth Factor Expression is Closely Related to Irinotecan-mediated Inhibition of Tumor Growth and Angiogenesis in Neuroblastoma Xenografts.	Kaneko S, Kaneko M, et al.	小児外科
Pediatr Radiol. 38:907-908. 2008	Type I biliary atresia without extrahepatic biliary cyst	Komuro H, Kudo T, Jinbo T, Hori T, Tatekawa Y, Kudou S, Urita Y, Kaneko M, et al.	小児外科

小計 7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroblastoma Research Trends. pp1-33 Nova Science Publishers Inc, New York, 2008	Cancer stem cell in neuroblastoma: Diagnostic and therapeutic implications.	Komuro H	小児外科
小児外科 40(6):, 609-613. 2008	進行神経芽腫の両腎温存手術	金子道夫、平井みさ 子、大川治夫、澤口 重徳	小児外科
小児外科 40(11):1257-1260. 2008	単3電池誤飲	今井章人、平井みさ 子、金子道夫、堀哲 夫、小室広昭、瓜田 泰久、井上成一朗、 渡邊美穂	小児外科
日本形成外科学会誌	深下腹壁動静脈の解剖学的破格が 認められた腹直筋皮弁の1例	小林友哉、遠藤 隆志、畑寿太郎、 富樫真二	形成
日本形成外科学会誌	副耳40症例の検討	佐々木正浩、富樫 真二、遠藤隆志、 畑寿太郎、中山 凱夫	形成
日本マイクロ会誌	チームサージャリーにおけるマイ クロサージャリーの貢献—保険点 数、術者、手術時間の観点から—	関堂充、古川洋志、 佐々木了、斎藤亮、 大澤昌之、山本有平	形成
BMJ Case Reports, March 26, 2009	Intravascular large B cell lymphoma with neurological symptoms diagnosed on the basis of a senile angioma-like eruption.	Nakamura Y, Nakamagoe K, Kawachi Y, Hosaka A, Mukai H, Chiba S, Ohtsuka F, Tamaoka A	脳神経 (内)
Acta Neuropathol 2009;117(4):429-444.	Clinicopathological characterization of frontotemporal lobar degeneration with ubiquitin-positive inclusions and Pick's disease.	Yokota O, Tsuchiya K, Arai T, Yagishita S, Matsubara O, Mochizuki A, Tamaoka A, Yoshida H, Terada S, Ishizu H, Kuroda S, Akiyama H	脳神経 (内)

小計 8 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biophys Biochem Res Commun 2009;380(1):111-114	IGF-1 promotes beta-amyloid production by a secretase-independent mechanism.	Kume H, Oda A, Tamaoka A, Kametani F, Araki W	脳神経 (内)
J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci 2008;867(2):179-88	Urine analysis of patients exposed to phenylarsenic compounds via accidental pollution.	Kinoshita K, Noguchi A, Ishii K, Tamaoka A, Ochi T, Kaise T	脳神経 (内)
臨床神経 48(5):328-332. 2008	亜急性の意識障害を主徴とした intravascular lymphomatosis の1例	辻 浩史、望月昭英、保坂 愛、吉澤利弘、玉岡 晃	脳神経 (内)
J Clin Neuromuscul Dis . 2008 Mar; 9(3): 345-7 ..	Neuromuscular features in the camera-marugo-cohen syndrome.	Ohkoshi N, Matsuno-Yoshida S, Watanabe M, Tamaoka A.	脳神経 (内)
Human Genetics 2008;124(1):89-94	Calbindin 1, fibroblast growth factor 20, and alpha-synuclein in sporadic Parkinson' s disease.	Mizuta I, Tsunoda T, Satake W, Nakabayashi Y, Watanabe M, Takeda A, Hasegawa K, Nakashima M, Hattori N, Murata M, Toda T	脳神経 (内)
Horm Behav. 2008 Jun;54(1):143-52.	Human chorionic gonadotropin (a luteinizing hormone homologue) decreases spatial memory and increases brain amyloid-beta levels in female rats.	Berry A, Tomidokoro Y, Ghiso J, Thornton J.	脳神経 (内)
Annals of Neurology 63:377-387, 2008	A new amyloid β variant favoring oligomerization in Alzheimer-type dementia	Tomiyama T, Nagata T, Shimada H, Teraoka R, Fukushima A, Kanemitsu H, Takuma H, Kuwano R, Imagawa M, Ataka S, Wada Y, Yoshioka E, Nishizaki T, Watanabe Y, Mori H	脳神経 (内)

小計 7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroreport 19(6):615-619, 2008	Amyloid b E22D variant induces synaptic alteration in mouse hippocampal slices	Takuma H, Teraoka R, Mori H, Tomiyama T	脳神経 (内)
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine45(10): 661-667, 2008	パーキンソン病患者におけるビデオを利用した腕振り運動プログラムによる歩行の改善	大越教夫(筑波技術 大学 保健科学部神 経内科), 石井亜紀 子, 小國英一, 永田 博司, 林明人	脳神経 (内)
Brain Dev. 2008 Oct	Magnetoencephalography using total intravenous anesthesia in pediatric patients with intractable epilepsy: Lesional vs nonlesional epilepsy.	<u>Matsumura A.</u> <u>Ayuzawa S</u>	脳神経 (外)
Neurol India 56(1):98-100, 2008	Recovery of increased signal intensity of the cervical cord on magnetic resonance imaging after surgery for spontaneous spinal epidural hematoma causing hemiparesis.	<u>Ishikawa E.</u> <u>Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
AJNR Am J Neuroradiol. 2008 Nov;29(10):1910-7.	Dose Measurement on Both Patients and Operators during Neurointerventional Procedures Using Photoluminescence Glass Dosimeters.	<u>Matsumura A.</u> , <u>Tsuboi K.</u>	脳神経 (外)
J Neuro-Oncology 87: 35-41, 2008	Boron distribution in the normal rat brain after intravenous injection of boronophenylalanine-fructose.	<u>Shibata Y</u>	脳神経 (外)
Neuroradiology 50(8) 741-2, 2008	Proton Magnetic Resonance Spectroscopy and ²⁰¹ Thallium-, ^{99m} Tc-methoxyisobutylisonitrile Single Photon Emission Computed Tomography findings of a patient with choroids plexus papilloma.	<u>Shibata Y.</u> <u>Matsumura A</u>	脳神経 (外)

小計 7 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Sci, 2008	Direct comparison of thallium-201 and technetium-99m MIBI SPECT of a glioma by a receiver operating characteristic analysis.	<u>Shibata Y, Yamamoto T, Takano S, Matsumura A</u>	脳神経 (外)
Surgical Neurology 69: 478-482, 2008	Embolization of ruptured aneurysms in the acute stage: experience at a single institute.	<u>Nakai Y</u>	脳神経 (外)
Surg Neurol. 70(2); 210-212, 2008	Oculomotor palsy treated by microvascular decompression.	<u>Suzuki K, Takano S, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Biomaterials, 2008	Application of liposomes incorporating doxorubicin with sialyl Lewis X to prevent stenosis after rat carotid artery injury.	<u>Yamamoto T, Suzuki K, Matsumura A</u>	脳神経 (外)
Neurosurgery, 63(1 Suppl 1): 91-91, 2008	A useful side-hole on a guiding catheter for transvenous embolization of a transverse-sigmoid sinus dural arteriovenous fistula.	<u>Suzuki K, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Cancer letters 262:143-52, 2008	Boron neutron capture therapy for glioblastoma.	<u>Yamamoto T, Nakai K, Matsumura A</u>	脳神経 (外)
Surg Neurol. 8, 2008	Percutaneous transesophageal gastrotubing: alternative tube nutrition for a patient with a ventriculoperitoneal shunt.	<u>Yamamoto T, Matsumura A</u>	脳神経 (外)
Cancer letters 263 : 253-8, 2008	Combined use of sodium borocaptate and buthionine sulfoximine in boron neutron capture therapy enhanced tissue boron uptake and delayed tumor growth in a rat subcutaneous tumor model.	<u>Yoshida F, Yamamoto T, Nakai K, Shibata Y, Matsumura A</u>	脳神経 (外)
Eur Radiol 18 : 2901-2911, 2008	New observations concerning the interpretation of magnetic resonance spectroscopy of Meningioma.	<u>Isoe T, Shibata Y, Takano S, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)

小計 9 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroradiology 2008 51(1):61-7	Absolute choline concentration measured by quantitative proton MR spectroscopy correlates with cell density in Meningioma.	<u>Shibata Y, Isobe T, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Appl Radiat Isot. 2009 Mar 31.	Intracellular uptake of a new boronated porphyrin EC032.	<u>Yamamoto T, Nakai K, Yoshida F, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Appl Radiat Isot. 2009 Mar 27.	T2 corrected quantification method of l-p-boronophenylalanine using proton magnetic resonance spectroscopy for boron neutron capture therapy.	<u>Isobe T, Yamamoto T, Shibata Y, Nakai K, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Appl Radiat Isot. 2009 Mar 26.	Development of a new multi-modal Monte-Carlo radiotherapy planning system.	<u>Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Appl Radiat Isot. 2009 Mar 28.	Feasibility of boron neutron capture therapy for malignant spinal tumors.	<u>Nakai K, Yamamoto T, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Appl Radiat Isot. 2009 Mar 27.	Dose distribution and clinical response of glioblastoma treated with boron neutron capture therapy.	<u>Yamamoto T, Nakai K, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Appl Radiat Isot. 2009 Mar 24.	Boron neutron capture therapy for newly diagnosed glioblastoma: A pilot study in Tsukuba.	<u>Yamamoto T, Nakai K, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Appl Radiat Isot. 2009 Mar 24.	Current practices and future directions of therapeutic strategy in glioblastoma: Survival benefit and indication of BNCT.	<u>Matsumura A, Yamamoto T, Nakai K, Tsuboi K.</u>	脳神経 (外)
2009 Apr;91(1):80-4. Epub 2009 Mar 11.	Boron neutron capture therapy for newly diagnosed glioblastoma. Radiother Oncol.	<u>Yamamoto T, Nakai K, Shibata Y, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)
Spine. 2009 Mar 15;34(6):E230-4.	Selective arterial embolization with n-butyl cyanoacrylate in the treatment of aneurysmal bone cyst of the thoracic vertebra: a case report.	<u>Suzuki K, Matsumura A.</u>	脳神経 (外)

小計 10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本創外固定・骨延長学会誌	Taylor Spatial Frame と Fast Fix strut を用いた下腿変形矯正骨切り術	野澤大輔	整形外科
日本創外固定・骨延長学会誌	荷重調節関節運動機構付き創外固定器の開発と家兎モデルへの応用	西野衆文	整形外科
整形・災害外科	変形性足関節症に対する創外固定器を用いた関節牽引形成術-足関節疾患に対する形成術-	石井朝夫	整形外科
J Orthop Res	Repair of large full-thickness articular cartilage defects by transplantation of autologous uncultured bone-marrow-derived mononuclear cells.	Chang F	整形外科
Spine Journal	Factors associated with lumbar intervertebral disc degeneration in the elderly.	半谷美夏	整形外科
Mod Rheumatol	Femoral nerve palsy caused by a huge iliopectineal synovitis extending to the iliac fossa in a rheumatoid arthritis case,	辰村正紀	整形外科
Acta Orthopaedica	Concentration of bone Marrow aspirate for osteogenic Repair using simple centrifugal methods (technical note)	酒井晋介	整形外科
J Orthop Sci	Midterm results of the Synergy cementless tapered stem: stress shielding and bone quality.	西野衆文	整形外科
整形外科	疲労骨折に対する低出力超音波パルスの有効性の検討	小川 健	整形外科
Am J Sports Med	Lumber intervertebral disk degeneration in athletes.	半谷美夏	整形外科
日本骨・関節感染症学会雑誌	サルモネラ骨髄炎の2例	小川 健	整形外科
日本骨・関節感染症学会雑誌	前十字靭帯再建後の人工材料に起因した深部感染の2例	村井伸司	整形外科
日本骨・関節感染症学会雑誌	当院における人工膝関節置換術後感染治療例の検討	渡辺 新	整形外科

小計 13 件

雜誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Ophthalmol Scand 2008;86:65-70.	Soft-shell technique using Viscoat and Healon 5:a prospective, randomized comparison between a dispersive-viscoadaptive and a dispersive-cohesive soft-shell technique.	Sato M, Oshika T	眼科
Acta Ophthalmol Scand 2008;86:97-102	Comparison of triamcinolone acetonide, 11-deoxycortisol and other lipid formulae for the visualization of vitreous body in the anterior chamber after posterior capsule rupture in animal models.	Kaji Y, Hiraoka T, Okamoto F, Oshika T	眼科
Am J Ophthalmol 2008;145:645-655.	Mesopic contrast sensitivity function and ocular higher-order aberrations following overnight orthokeratology.	Hiraoka T, Oshika T	眼科
J Glaucoma 2008;17:193-196.	Three-dimensional anterior segment optical coherence tomography of filtering blebs after trabeculectomy.	Kawana K, Kiuchi T, Oshika T	眼科
Am J Ophthalmol 2008;145:1031-1036.	Vision-related quality of life and visual function following vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy.	Okamoto F, Hiraoka T, Oshika T	眼科
Ophthalmology 2008;115:1216-1221.	Changes in higher-order aberrations following scleral buckling surgery for rhegmatogenous retinal detachment.	Okamoto F, Hiraoka T, Oshika T	眼科
Am J Ophthalmol 2008;146:85-90.	Vision-related quality of life and visual function after retinal detachment surgery.	Okamoto F, Hiraoka T, Oshika T	眼科
Am J Ophthalmol 2008;146:318-322.	Vision-related quality of life in patients with pituitary adenoma.	Okamoto F, Hiraoka T, Oshika T	眼科
Am J Ophthalmol 2008;146:404-409.	The impact of cataract surgery on cognitive impairment and depressive mental status in elderly patients.	Oshika T	眼科

小計 9 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Invest Ophthalmol Vis Sci 2008;49:4314-4320.	Time course of changes in ocular higher-order aberrations and contrast sensitivity after overnight orthokeratology.	Hiraoka T, Okamoto F, Oshika T	眼科
J Cataract Refract Surg 2008;34:1824-1827.	Visco-shell technique with sodium hyaluronate 2.3% in phacoemulsification of Morgagnian cataract.	Sato M, Oshika T	眼科
Eye 2008;22:1488-1492.	Higher-Order wavefront aberration and letter-contrast sensitivity in keratoconus.	Okamoto F, Oshika T	眼科
Biol Reprod.	Fetomaternal trafficking in the mouse increases as delivery approaches and is highest in the maternal lung.	藤木 豊	婦人周産期
Biol Reprod	Fetal Cells in the Pregnant Mouse Are Diverse and Express a Variety of Progenitor and Differentiated Cell Markers.	藤木 豊	婦人周産期
Br J Cancer	Silent venous thromboembolism before treatment in endometrial cancer and the risk factors	佐藤豊実	婦人周産期
J Med Virol.	Modification of human papillomavirus-like particle vaccine by insertion of the cross-reactive L2-epitopes.	吉川裕之	婦人周産期
J Magn Reson Imaging	Carcinosarcoma of the uterus: MR findings.	吉川裕之	婦人周産期
Clin Vaccine Immunol.	Neutralizing antibodies against human papillomavirus types of 16, 18, 31, 52, and 58 in the serum samples from Japanese women with low grade cervical intraepithelial neoplasia.	吉川裕之	婦人周産期

小計 9 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiat Med.	Comparison of tumor regression rate of uterine cervical squamous cell carcinoma during external beam and intracavitary radiotherapy.	吉川裕之	婦人周産期
Gynecol. Oncol.	Feasibility study of neoadjuvant chemotherapy followed by interval debulking surgery for stage III/IV ovarian, tubal, and peritoneal cancers: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG0206,	吉川裕之	婦人周産期
Cytometry Part A.	Quantification of green fluorescent protein by in vivo imaging, PCR, and flow cytometry: comparison of transgenic strains and relevance for fetal cell microchimerism.	藤木 豊	婦人周産期
Audiology Jpn	職場騒音と騒音性難聴の実績について 特に従業員数 50 人未満の小規模事業所における騒音の現状と難聴の実態調査	和田哲郎	耳鼻咽喉科
Genes to cell	Reduced BMP4 abundance in Gata2 hypomorphic mutant Mice result in uropathies Resembling human CAKUT	Tomohumi Hoshino	耳鼻咽喉科
Audiology Jpn	蝸電図検査	原 晃	耳鼻咽喉科
Tohoku J. Exp. Med	Activation of the GABAA Receptor ameliorates the cochlear excitotoxicity caused by kainic acid in the guinea pig	Shuhei Sakai	耳鼻咽喉科
Tohoku J. Exp. Med	The non-steroidal anti-inflammatory drugs protect mouse cochlea against acoustic injury	Tomohumi Hoshino	耳鼻咽喉科
麻酔 58(1)、10-15	性差に基づく周術期循環管理	高橋伸二	麻酔

小計 9 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Anaesth 101(6):860-862	Convulsions after ropivacaine 300 mg for brachial plexus block.	Satsumae T	麻酔
Cancer Therapy 6:187-192, 2008	The association of hematologic changes and histological responses to preoperative chemoradiotherapy in oral cancer patients.	Kenji Yamagata, Kojiro Onizawa, Toru Yanagawa, Hiroshi Yoshida	歯・口腔
Oral Maxillofac Surg 12:13-18, 2008	Treatment for lung metastasis from head and neck squamous cell carcinoma: a preliminary study of docetaxel	Kenji Yamagata, Kojiro Onizawa, Yuki Otsuka, Hiroshi Yoshida	歯・口腔
日口外誌 54:453-458, 2008	舌背部に生じた平滑筋性過誤腫の 1例	石橋直美、山縣憲司、 鬼澤浩司郎、米本芽 衣、柳川 徹、吉田 廣	歯・口腔
Oral Maxillofac Surg 12:227-230, 2008	Treatment of localized oral MALT lymphoma by rituximab: a case report	Kenji Yamagata, Kojiro Onizawa, Hiroshi Kojima, Hiroshi Yoshida	歯・口腔
日口診誌 21:241-245, 2008	咬筋外側に生じた木村病の1例	山縣憲司、柳川 徹、 鬼澤浩司郎、吉田 廣	歯・口腔
日口診誌 21:273-277, 2008	顎口腔領域に生じた節外性悪性リンパ腫の6例	山縣憲司、鬼澤浩司 郎、吉田 廣	歯・口腔
口と歯の事典(高戸 毅、天笠光雄、葛西一 貴、古郷幹彦、 須佐美隆史、鈴木茂彦、 谷口 尚、新美成二 編)、 朝倉書店、東京、 pp.106-109, 2008	ドライマウス	吉田 廣	歯・口腔
Hematopoietic stem cell transplantation research advances (Edit. Karl B. Neumann), Nova Science Publishers, New York, pp. 155-174, 2008	Dental management before hematopoietic stem cell transplantation for adult and pediatric patients with hematologic disease.	Kenji Yamagata, Kojiro Onizawa, Hiroshi Yoshida	歯・口腔

小計 9 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
診断力てすと 第4集 (山根源之 編)、デンタルダイヤモンド社、 東京、pp.31-32、2008	上顎洞内の石灰化物	山縣憲司	歯・口腔
Paediatr Anaesth	Prolonged sevoflurane inhalation therapy for status asthmaticus in an infant.	Watanabe K, Mizutani T, Yamashita S, Tatekawa Y, Jinbo T, Tanaka M	救急・集中治療
Br J Anaesth	New use of a laryngectomytube of for management of mechanical ventilation in patients with anatomical abnormalities.	Shimizu T, Mizutani T, Takahashi S, Hoshi T, Tanaka M	救急・集中治療
人工呼吸	PEEP の変化がカフ圧へ与える影響	卯野木 健, 四本竜一, 萩谷 圭一, 清水 雄, 高橋伸二, 水谷 太郎	救急・集中治療
人工呼吸	MR810 とMR 410 における酸素投与時の加湿性能の比較検討.	田辺 春海, 津山享子, 水谷 太郎, 萩谷 圭一	救急・集中治療
人工呼吸	HMEF 使用時一回換気量の変化がPetCO2 に及ぼす影響.	四本 竜一, 卯野木 健, 萩谷 圭一, 清水 雄, 高橋 伸二, 水谷 太郎	救急・集中治療
新・図解救急・応急処置ガイド	タバコ経口中毒	水谷 太郎	救急・集中治療
Journal of Cardiology	Combined approach with Doppler echocardiography and B-type natriuretic peptide to stratify prognosis of patients with decompensated systolic heart failure	Yoshihiro Seo, Tomoko Ishizu, Satoru Kawano, Shigeyuki Watanabe, Toshiyuki Ishimitsu, Kazutaka Aonuma	救急・集中治療

小計 8 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
European Journal of Heart Failure	Stratification of impaired relaxation filling patterns by passive leg lifting in patients with preserved left ventricular ejection fraction.	Tomoko Ishizu, Yoshihiro Seo, Satoru Kawano, Shigeyuki Watanabe, Toshiyuki Ishimitsu, Kazutaka Aonuma	救急・集中治療
Pediatr Cardiol	Apical hypertrophic cardiomyopathy in childhood: A long-term follow up report of two cases	Miyamoto T, Horigome H, Kawano S, Sumazaki R	救急・集中治療
日本心臓病学会誌	右心系に伸展した静脈内平滑筋腫症によって失神を生じた1例	飯田典子, 瀬尾由広, 石津智子, 中島英樹, 稲葉武, 河野了, 渡辺重行, 榊原謙, 青沼和隆	救急・集中治療
治療学	薬剤性心筋症	河野了	救急・集中治療
Eur Radiol	Prone positioning improves distribution of pulmonary perfusion: noninvasive magnetic resonance imaging study in healthy humans.	Suzuki H, Sato Y, Shindo M, Yoshioka H, Mizutani T, Onizuka M, Sakakibara Y	救急・集中治療
Acta Physiol (Oxf)	Involvement of Endothelin-1 in Habitual Exercise-Induced Increase in Arterial Compliance.	Maeda S, Sugawara J, Yoshizawa M, Otsuki T, Shimojo N, Jesmin S, Ajisaka R, Miyauchi T, Tanaka H	救急・集中治療
Int J Cardiol	Reduction in alpha-adrenergic receptor-mediated vascular tone contributes to improved arterial compliance with endurance training.	Sugawara J, Komine H, Hayashi K, Yoshizawa M, Otsuki T, Shimojo N, Miyauchi T, Yokoi T, Maeda S, Tanaka H	救急・集中治療
Am J Physiol Heart Circ Physiol	The benefit of medium-chain triglyceride therapy on the cardiac function of SHR is associated with a reversal of metabolic and signaling alterations.	Iemitsu M, Shimojo N, Maeda S, Irukayama-Tomobe Y, Sakai S, Ohkubo T, Tanaka Y, Miyauchi T	救急・集中治療

小計 8 件

雜誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Magn Reson Med Sci 2008;7:157~162	Fractional anisotropy values of calf muscles in Normative state after exercise:preliminary results.	Okamoto, et al.	放射線診断・IVR
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy interference with implanted cardiac pacemakers.	Oshiro Y, Sugahara S, Noma M, Et al	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	A Prospective Study Of Hypofractionated Proton Beam Therapy For Patients With Hepatocellular Carcinoma.	Fukumitsu N, Sugahara S, Nakayama H, Et al	放射線腫瘍科
Cancer Science	Direct visualization and quantification of the anticancer agent, cis-diamminedichloro-platinum(II), in human lung cancer cells using in-air microparticle-induced X-ray emission analysis.	Sakurai H, et al	放射線腫瘍科
Acta Oncologica	Results of concomitant chemoradiation for cervical cancer using high dose rate intracavitary brachytherapy: Study of JROSG.	Sakata K, Sakurai H, et al	放射線腫瘍科
Ann Nucl Med	Usefulness of FDG-PET/CT in the detection of pancreatic metastases from lung cancer.	M Sato, T Okumura et al	放射線腫瘍科
Ann Nucl Med	Extrapancreatic F-18 accumulation in autoimmune pancreatitis.	M Sato, T Okumura et al	放射線腫瘍科
JCO 26:1553-1555, 2008	Intravascular large B-cell lymphoma with acute abdomen as a presenting symptom in a patient with systemic lupus erythematosus.	Ishii W, Noguchi M, et al.	病理学的診断

小計 8 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Cancer Res 14:3746-3753, 2008	Association of p16 homozygous deletions with clinicopathologic characteristics and EGFR/KRAS/p53 mutations in lung adenocarcinoma.	Iwakawa R, Noguchi M, et al.	病理学的 診断
Cancer Sci 11:2177-2184, 2008	Frequent aberrant methylation of the promoter region of sterile alpha motif domain 14 in pulmonary adenocarcinoma.	Sun W, Noguchi M, et al.	病理学的 診断
J Comput Assist tomogr 32:792-798, 2008	Performance evaluation of 4 measuring methods of ground-glass opacities for predicting the 5-year relapse-free survival of patients with peripheral nonsmall cell lung cancer: a multicenter study.	Kakinuma R, Noguchi M, et al.	病理学的 診断
Lab Invest 88:132-143, 2008	Differentially expressed genes in a porcine adult hepatic stem-like cell line and their expression in developing and regenerating liver.	Kano J, Noguchi M, et al.	病理学的 診断
J Thorac Oncol 3:270-276, 2008	Pathologic radioresponse of preoperatively irradiated invasive thymomas.	Onuki T, Noguchi M, et al.	病理学的 診断

小計 5 件

合計 296 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長	五十嵐 徹也
管理担当者氏名	医療情報部長	大原 信
	薬剤部長	幸田 幸直
	病院総務部総務課長	高橋 慶匡、医事課長 廣瀬 和幸

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部 薬剤部 総務課	カルテは一患者一ファイルにより医療情報部で管理している。 エックス線等写真も医療情報部で一括して保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従事者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課、医事課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	掲規 げ則 る第 9 制条 確の 保2 の3 状及 び 第 1 条の 1 1 各号 に	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	
		医療に係る安全管理を行なう部門の設置状況	臨床医療管理部	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		臨床医療管理部		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		リスクマネジメント委員会		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		臨床医療管理部		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		臨床医療管理部		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 五十嵐徹也
閲覧担当者氏名	総務課長 高橋 慶匡、医事課長 廣瀬 和幸
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部 総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	3件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 2件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.0%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		12,954人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,198人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,550人
	D：初診の患者の数		19,989人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 23 及び第 1 の 11 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊦ (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (2) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医事紛争支援 医療サービスの向上のための企画及び教育 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦ ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 組織として事故防止に取り組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 事故防止のための教育研修システムを整え、教育研修を年 2 回以上行う。 医療事故防止マニュアルを必要に応じ閲覧に供する。 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 臨床医療管理部から報告を受け、インシデントレポート、カゼンレポート等の分析、改善案等を協議する。 医療事故の防止のための啓発を図る。 医療事故が発生した場合の適切な対策を協議する。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 第 1 期の研修プログラム (5 回開催) 「自己管理—セルフマネジメントの勧め—」 第 2 期の研修プログラム (5 回開催) 「医療事故はどのように起こるのか等」 護身術講習会及び実技 (3 回開催) 講演会「医療訴訟の現状と対策～今、何をなすべきか」(1 回開催) 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦ ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 「医療事故防止マニュアル (ポケット版)」を作成し、全職員に配布した。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る調書

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊦ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理室の設置 院内感染発生時の対応 職員研修 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 多剤耐性緑膿菌について 院内感染の防止について 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備： (㊦ ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 感染管理室から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊟ ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 職員全員を対象とした診療の安全に関する研修（第1期）において、「医薬品の安全使用」をテーマに資料を用いて説明を行った。 職員全員を対象とした診療の安全に関する研修（第2期）において、「薬剤投与に関する事故防止」をテーマに資料を用いて説明を行った。 	
② 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成（㊟ ・ 無） ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内巡視にて実施状況を確認 	
③ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備（㊟ ・ 無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 製薬企業 MR からの情報収集 医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス） 印刷物の配布（「薬剤部からのお知らせ」等） 院内メールによる情報配信 抗リチマイトレキサト製剤の誤投与防止対策の実施 医薬品販売名の類似性に起因した選択間違い防止対策の実施 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	㊟ ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 7回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の安全使用 1回（全職員対象） 血液浄化装置の安全使用 2回（血液浄化療法部スタッフ対象） 人工呼吸器の安全使用 4回（集中治療部スタッフ対象） 	
② 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 （㊟ ・ 無） ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 各機器ごとに保守点検台帳を作り、定期点検を実施している。 	
③ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （㊟ ・ 無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 定期的に関係部署のスタッフに医療機器安全使用情報を配布している。 	